

品番 HHFZ5223

お客様へ

工事店様へ

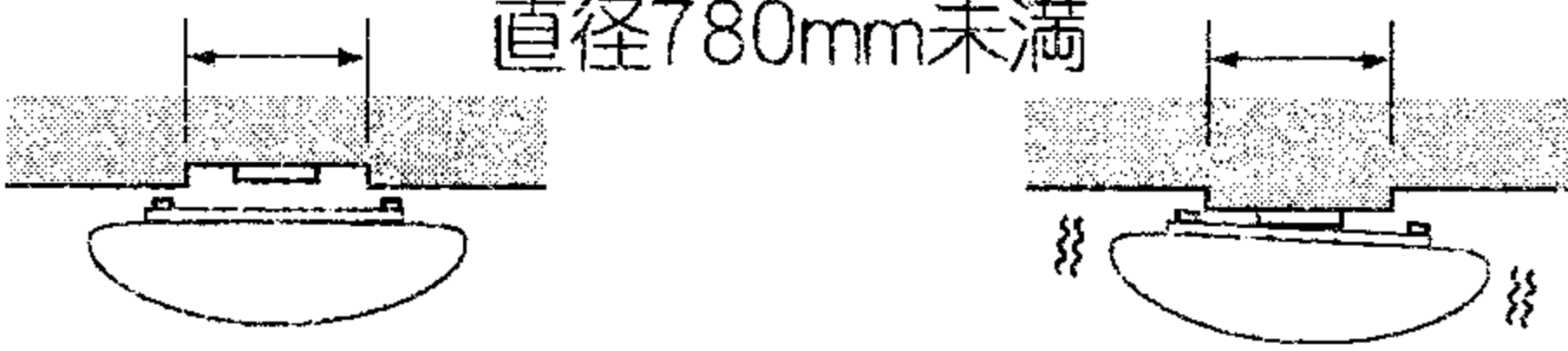
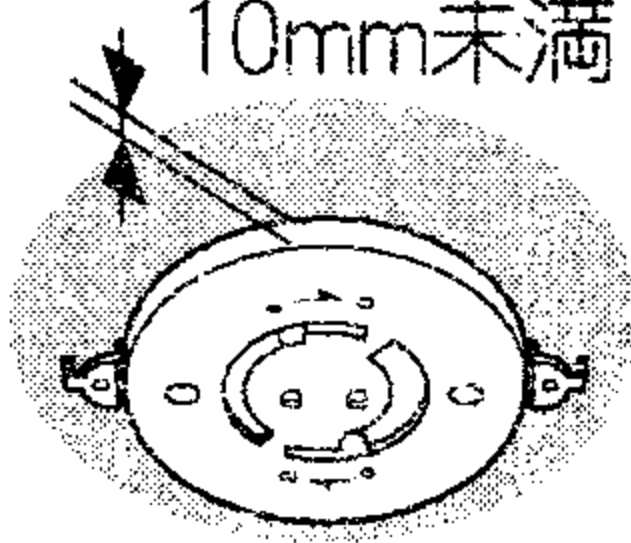
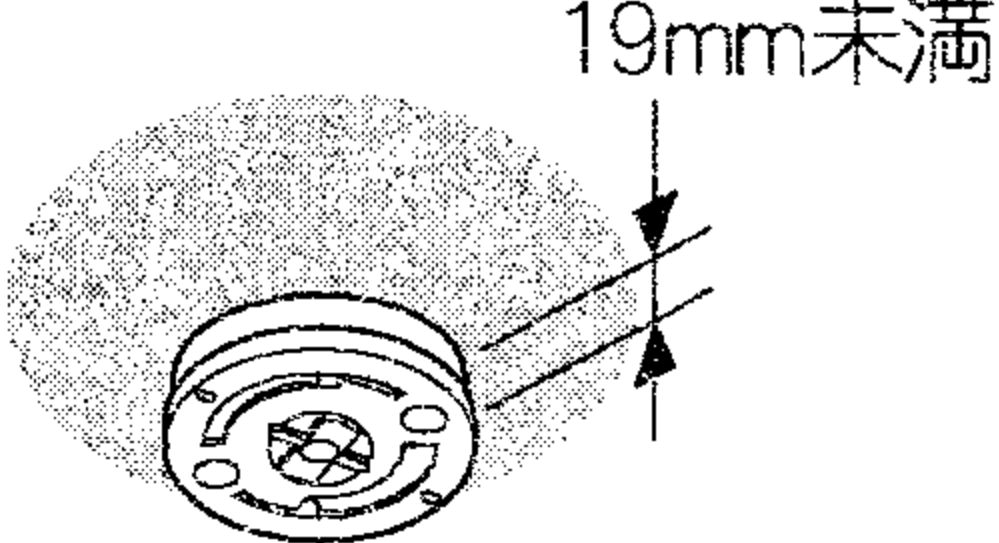
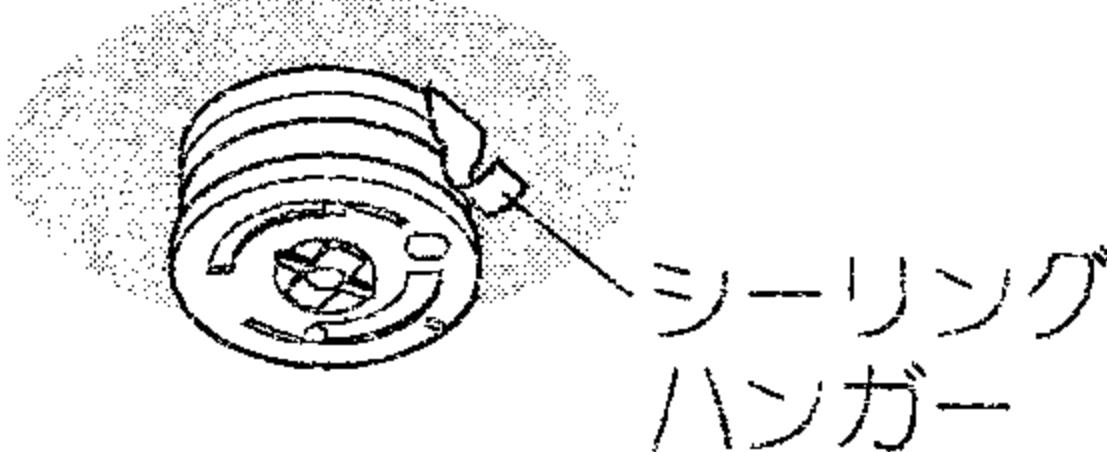
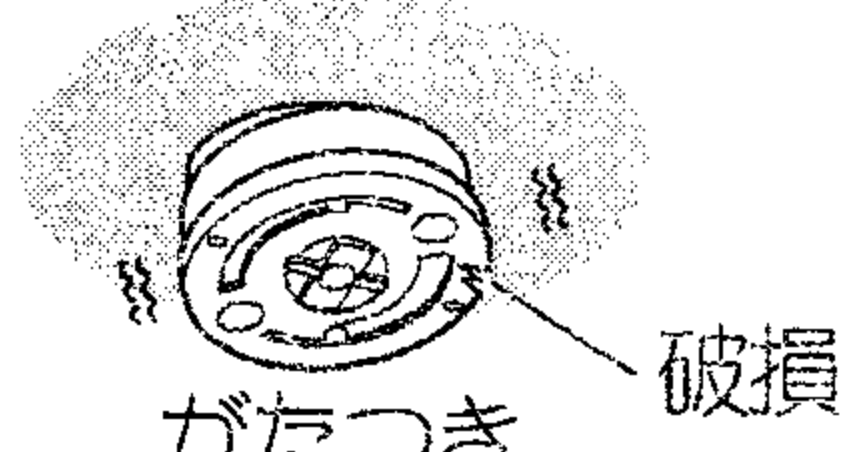
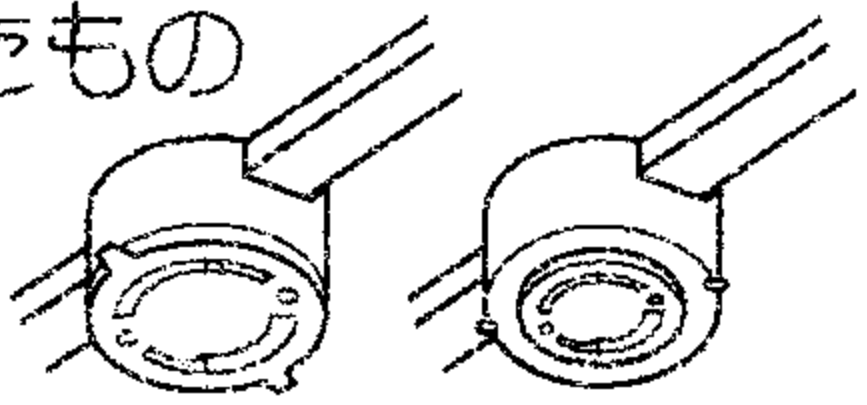
ご購入ありがとうございます。
ご使用前によくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと必ず保管し、必要なときにお読みください。

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

禁止	■ 次のような場所には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 ・ 平面部が直径780mm未満の場所 (例: 下図)  直径780mm未満 ・ 凹凸のある場所 (例: 下図)  船底天井 格子天井 竿縁天井 ・ 補強のない薄い場所 (ベニヤ板、石こうボードなど)  ・ 傾斜した場所  ●この器具は水平天井取り付け専用です。	禁止	■ 次のような配線器具には取り付けない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。 ・ 出ししろの少ないもの  10mm未満  19mm未満 埋込ローゼット 露出ローゼット 丸型フル引掛シーリング 角型引掛シーリング ・ シーリングハンガー がたついたり、 が取り付けられたもの 破損しているもの  シーリングハンガー  がたつき 破損 ・ 斜めに取り付けられたもの ・ ケースウェイに取り付けられたもの   ●工事店、電器店に配線器具の交換を依頼してください。(交換には資格が必要です)
必ず守る	■ 交流100ボルトで使用する 過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。 ■ 異常を感じた場合、速やかに電源を切る 異常状態が収まったことを確認し、販売店または別紙ご相談窓口にご相談ください。	分解禁止	■ 器具を改造したり、部品交換をしない 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

注意

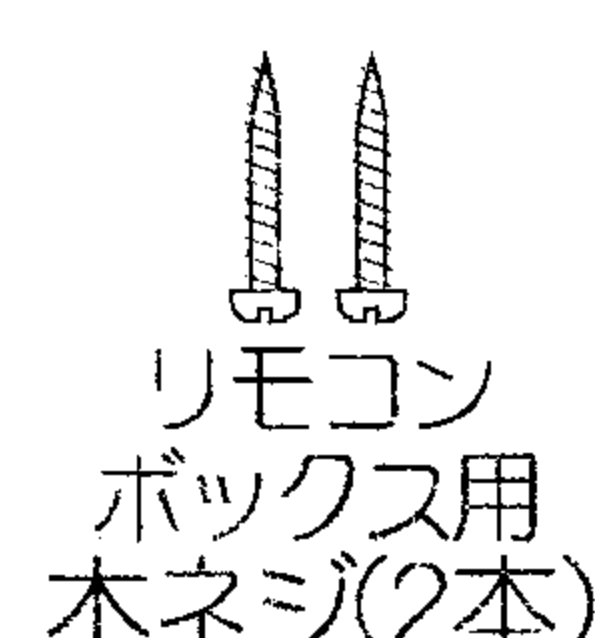
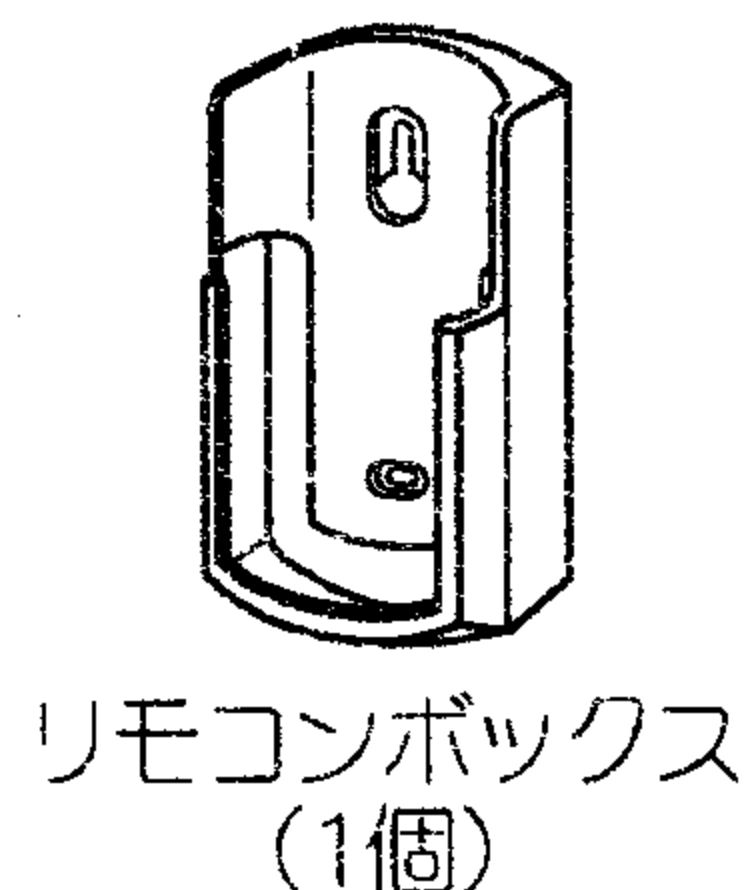
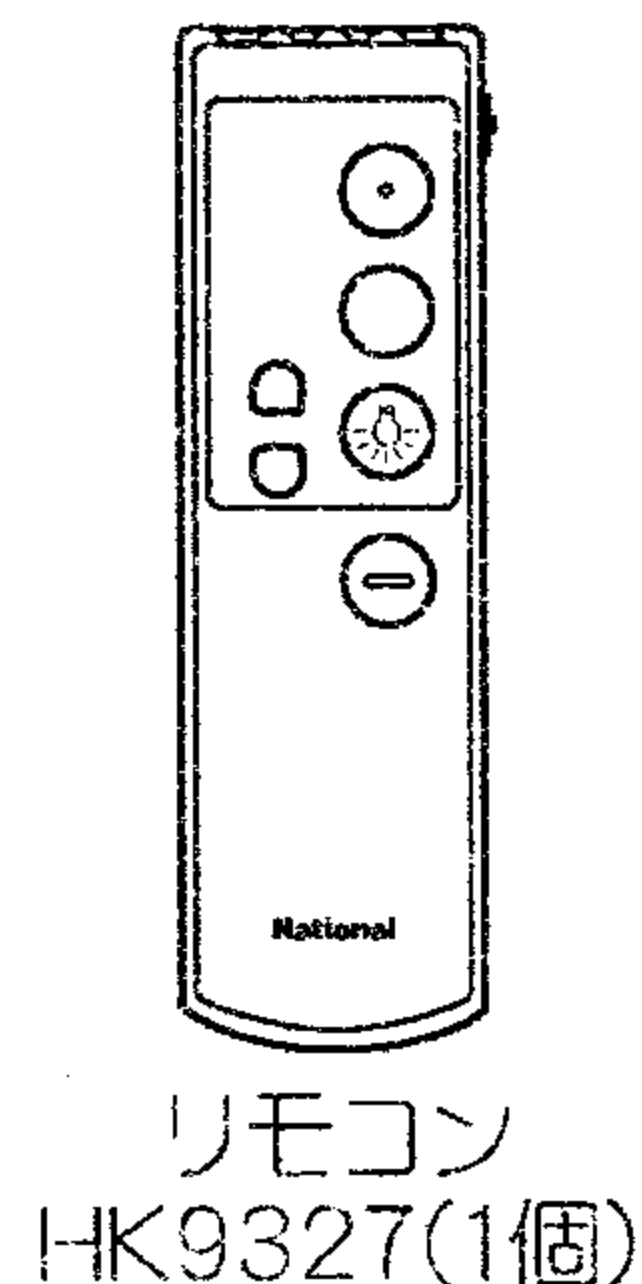
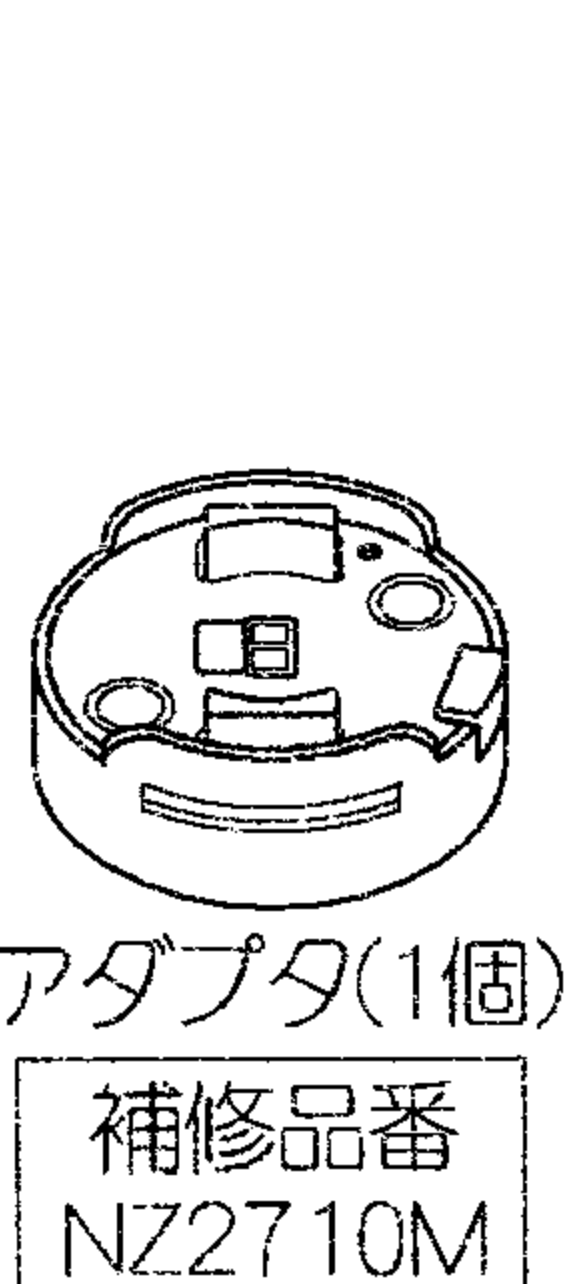
接触禁止	■ 点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない やけどの原因となることがあります。 ●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。	禁止	■ 温度の高くなるものを器具の真下に置かない 火災の原因となることがあります。 ●器具の真下にストーブなどを置かないでください。
水ぬれ禁止	■ 浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない 火災、感電の原因となることがあります。 ●この器具は防湿、防雨型ではありません。		■ 他の調光器と組み合わせて使用しない 調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。 ●工事店、電器店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です)

取り付けの前に



器具の取り付けは説明書に従い、確実に行う
守らないと、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります

1 付属部品を確認する



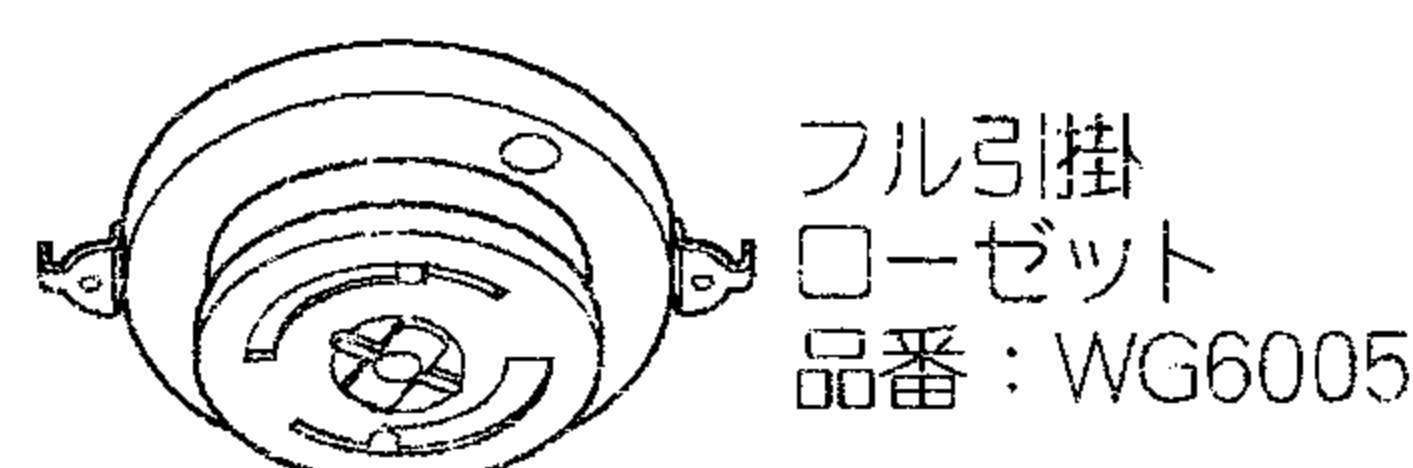
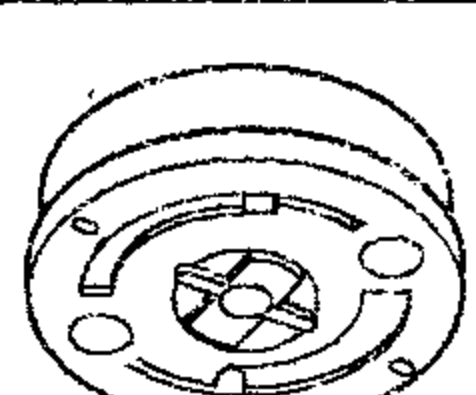
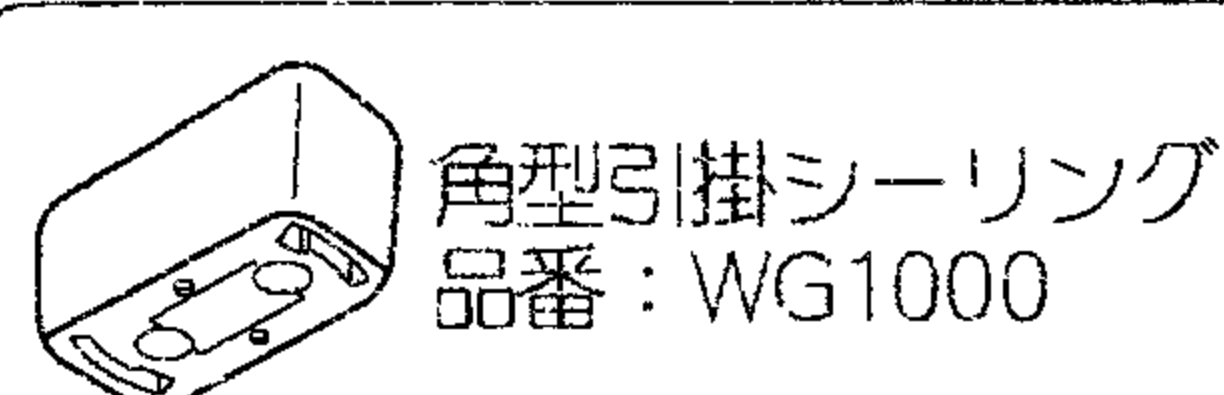
2 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

●安全のため、電源を切ってから行ってください。

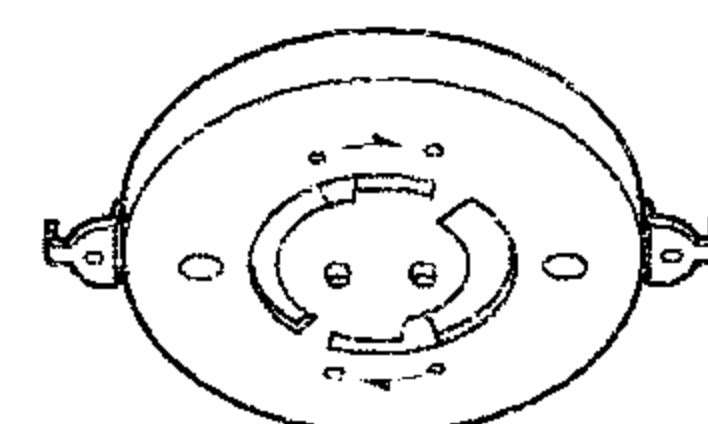
お願い 配線器具の種類で、回転リングの位置合わせが必要です。本体取り付け前に下記に従って、位置合わせを行ってください。

取り付けできる配線器具

下記以外の場合は、配線器具の交換が必要です

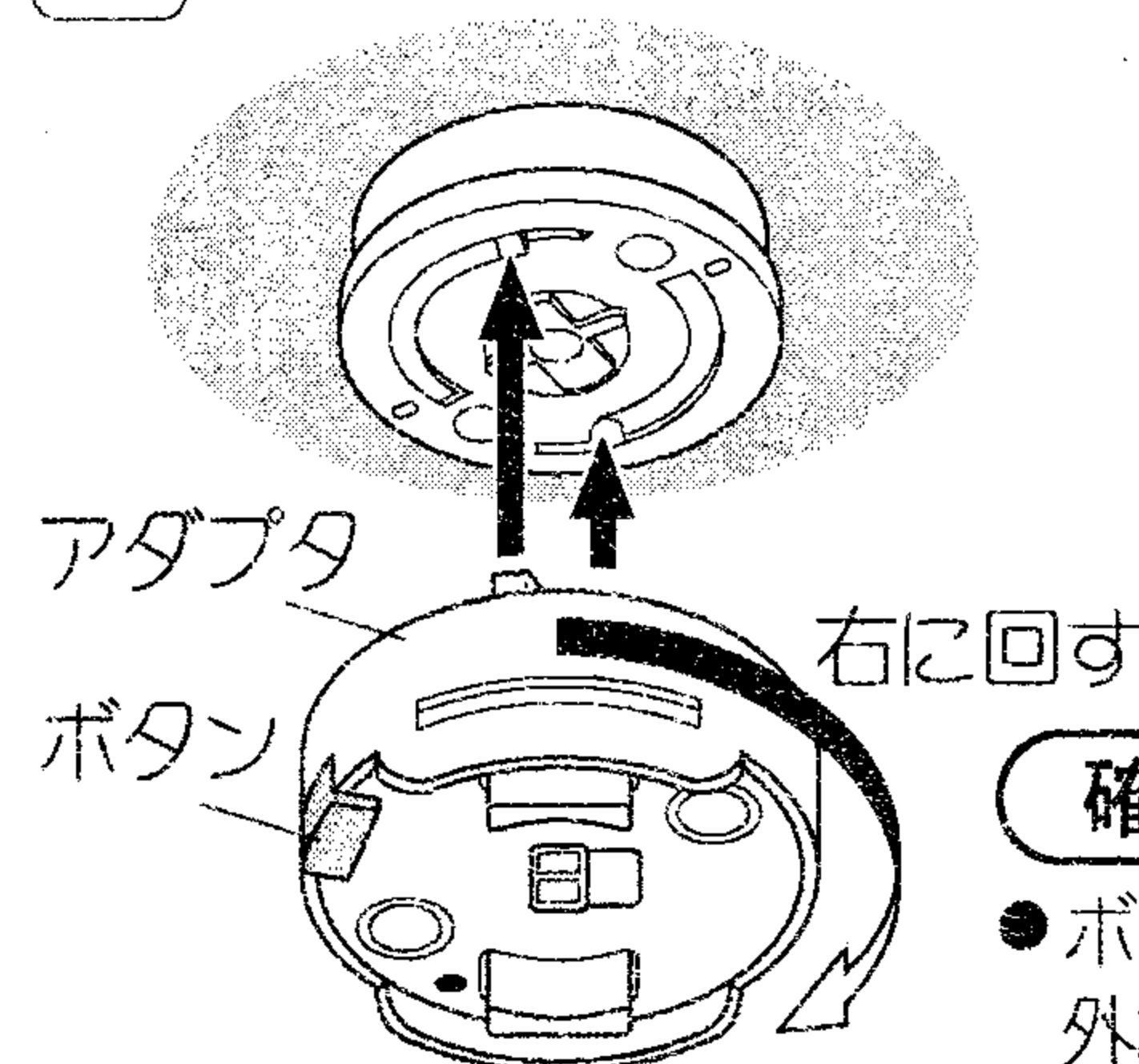


丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

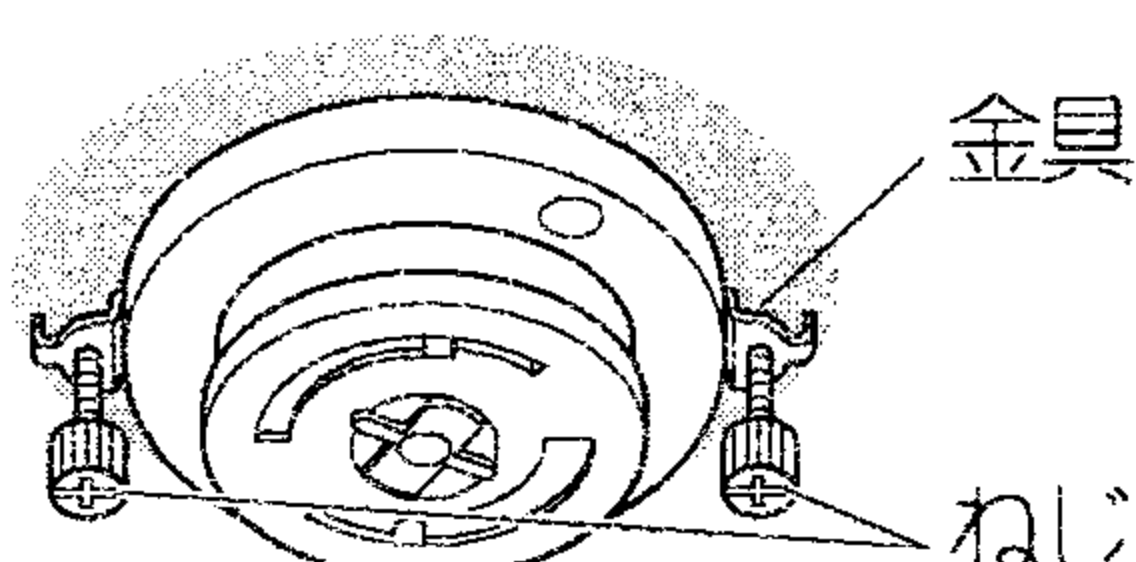


引掛露出ローゼット
品番：WG6130

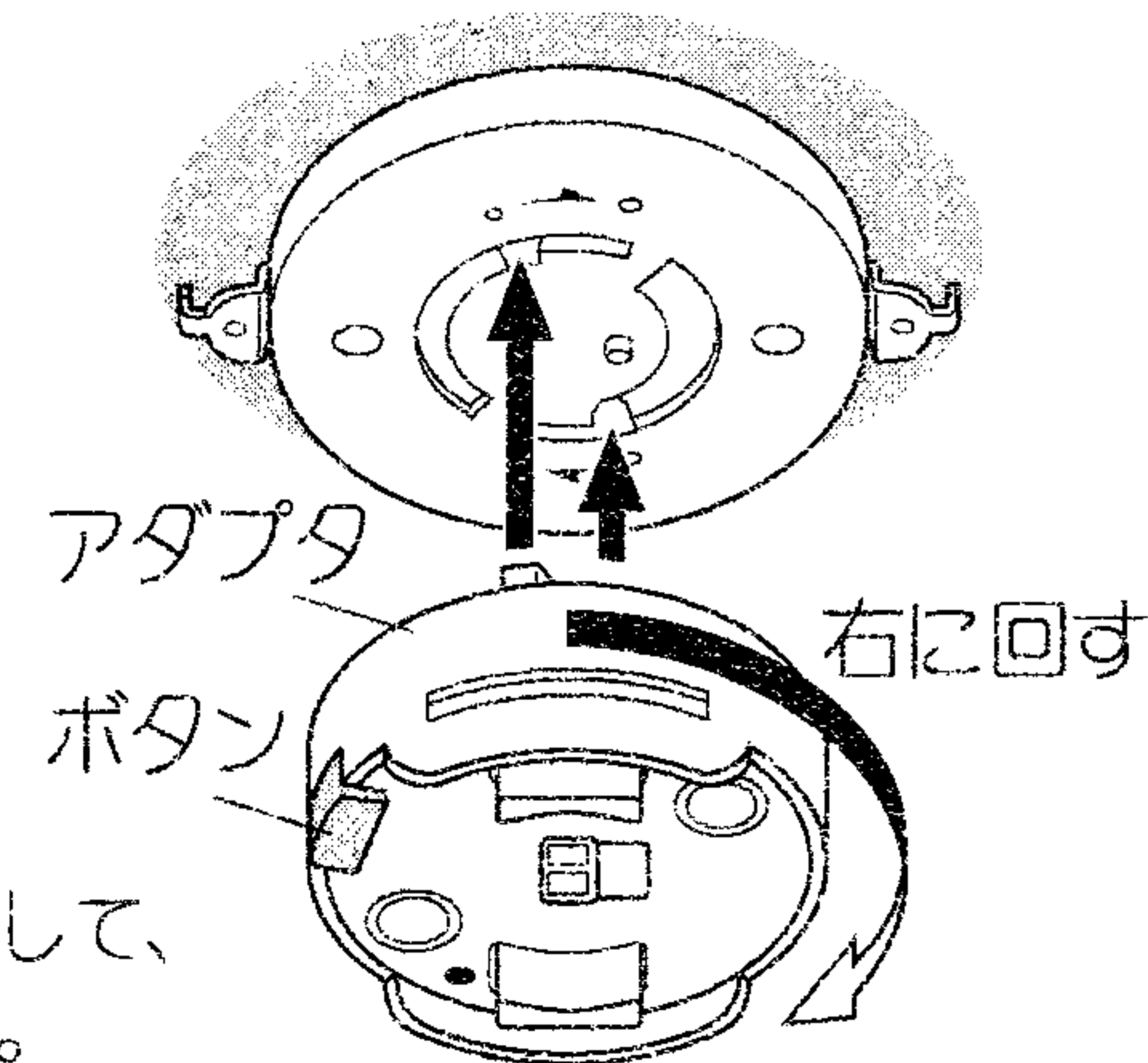
1 配線器具にアダプタを取り付ける



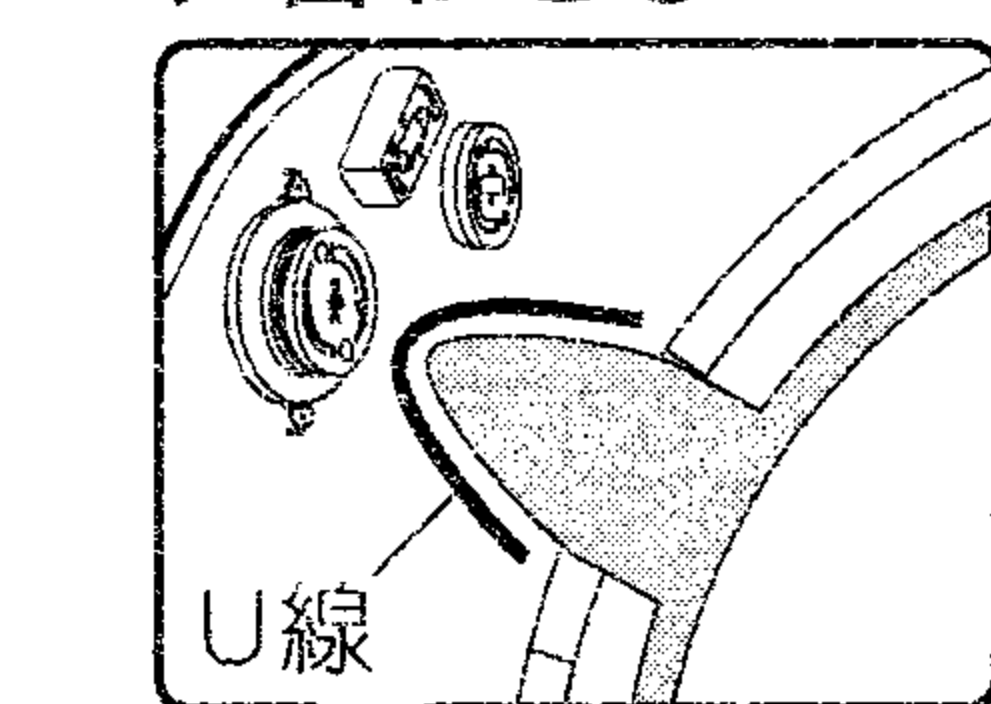
●ローゼットの
金具に、ねじ
が付いている
場合は外して
ください。



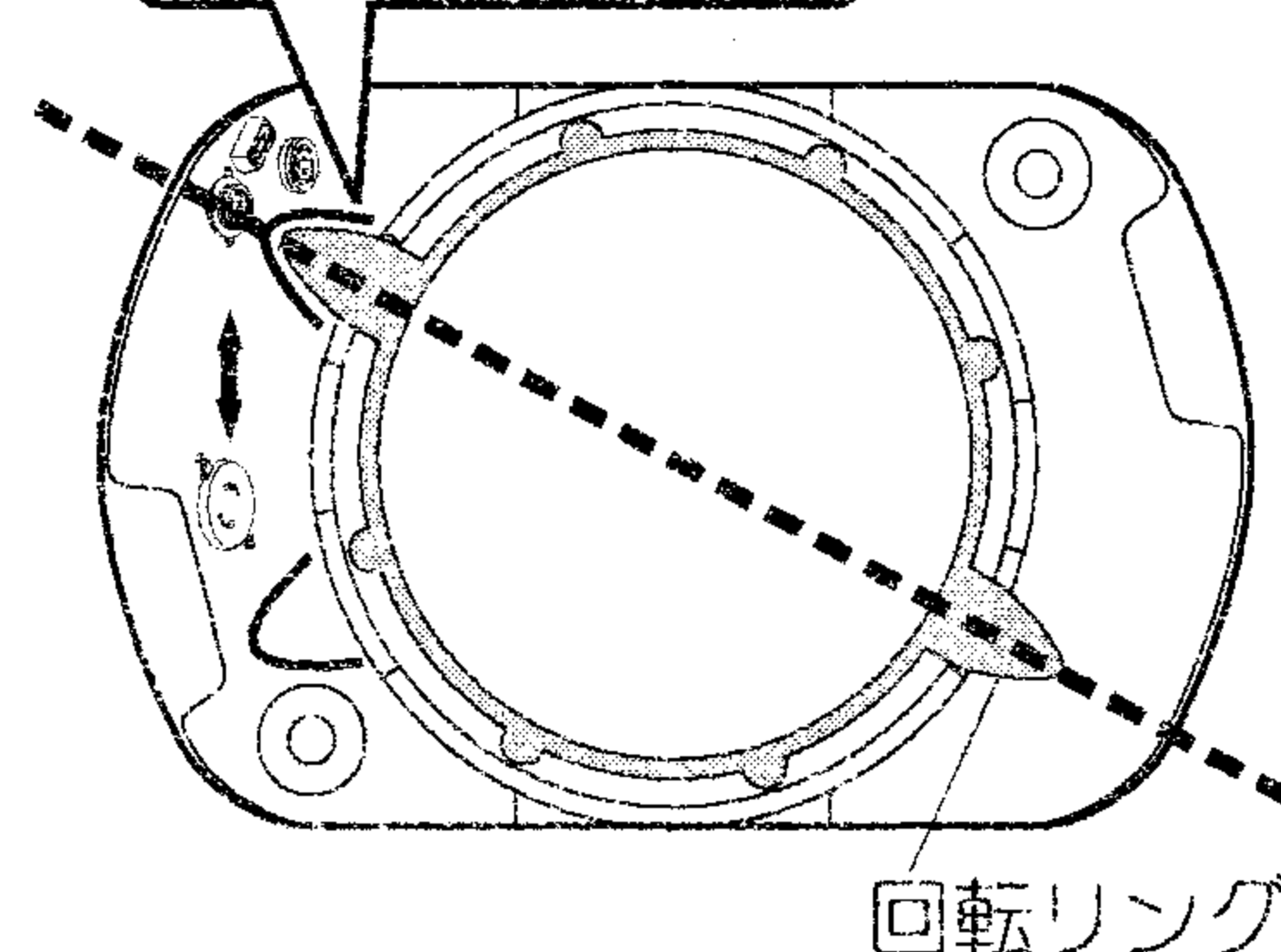
1 配線器具にアダプタを取り付ける



2 回転リングの方向を配線器具の絵の「U線内」に合わせる

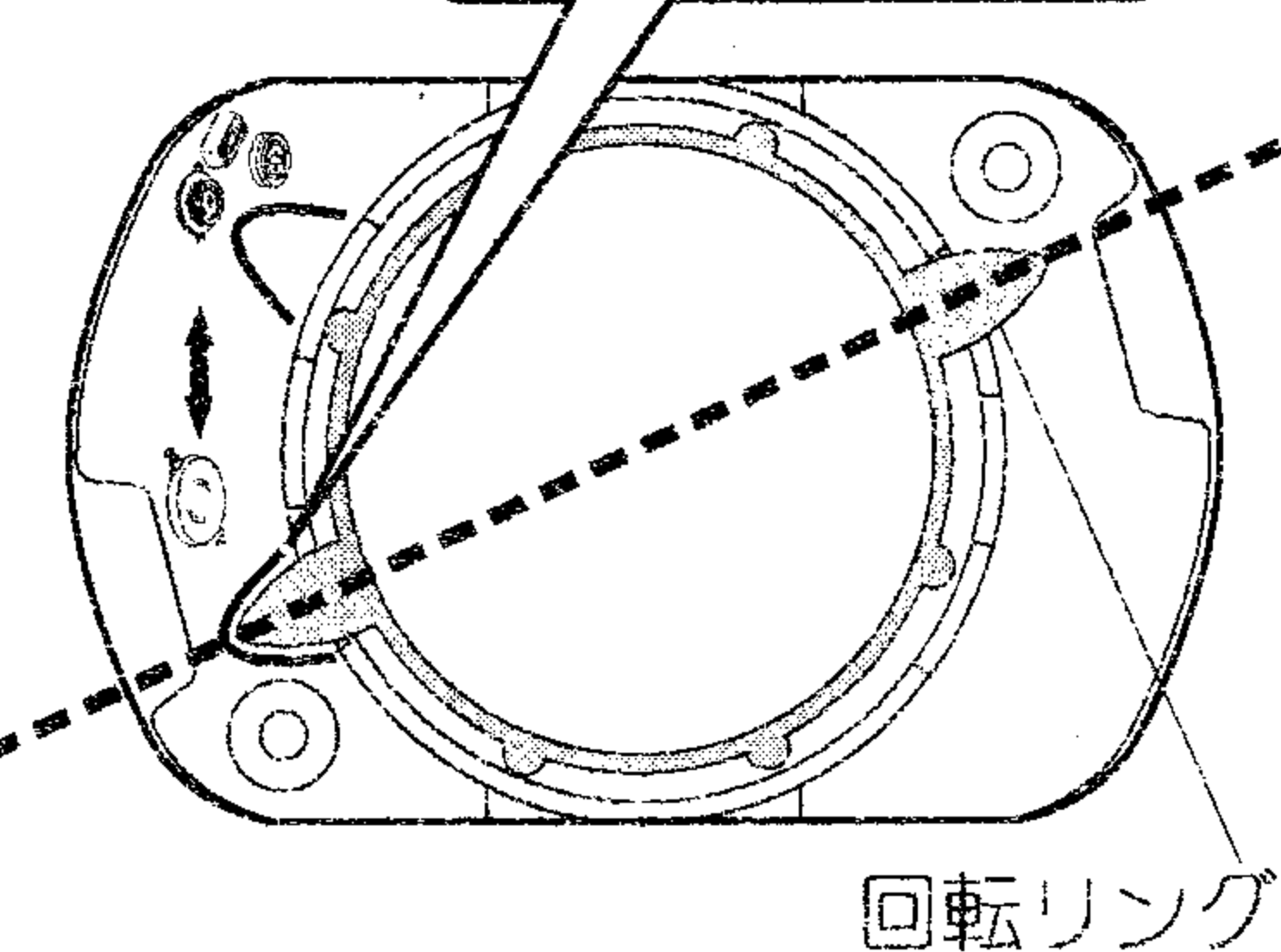
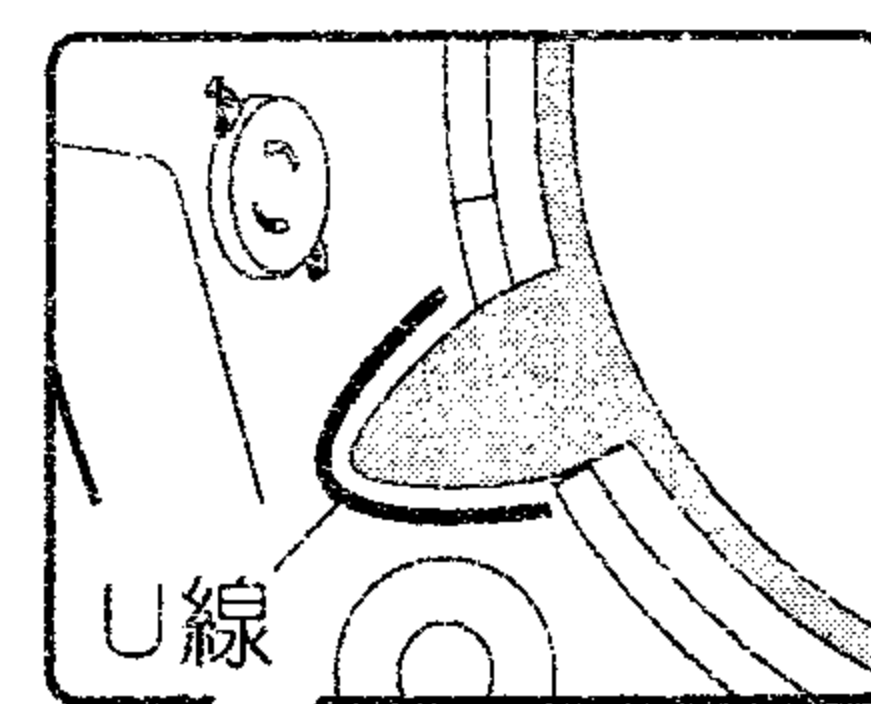


●右方向に止まるまで回し
「U線内」に合わせる。



2 回転リングの方向を配線器具の絵の「U線内」に合わせる

●左方向に止まるまで回し
「U線内」に合わせる。

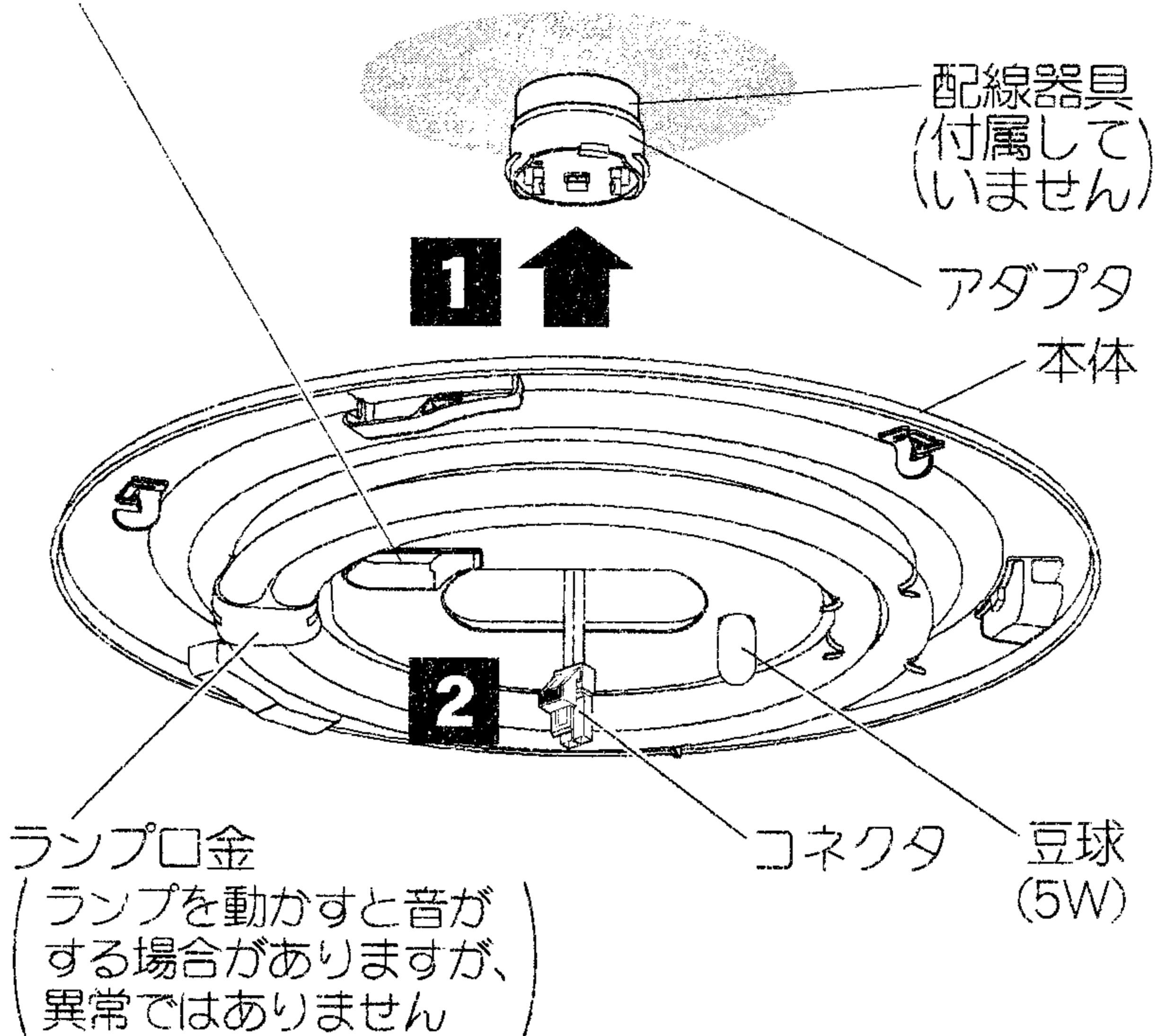


警告

■配線器具が十分な強度で取り付けられていることを確認する
落下によるけがのおそれがあります。
●配線器具ががたつく場合は、配線器具を交換してください。

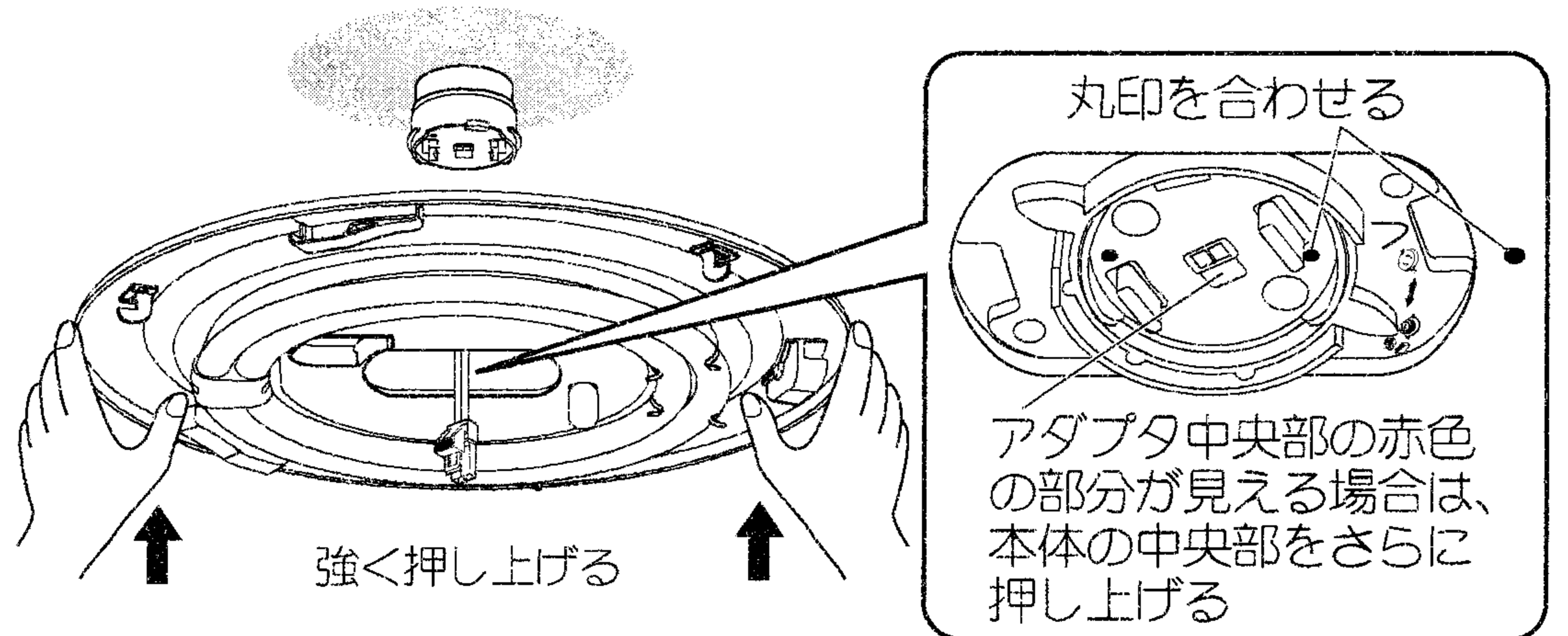
■配線器具の交換は工事店、電器店に依頼する
感電、落下によるけがのおそれがあります。
●交換には資格が必要です。

リモコン受信部
(詳しくは 5ページ「リモコン」
受信部のはたらき」参照)



1 本体を取り付ける

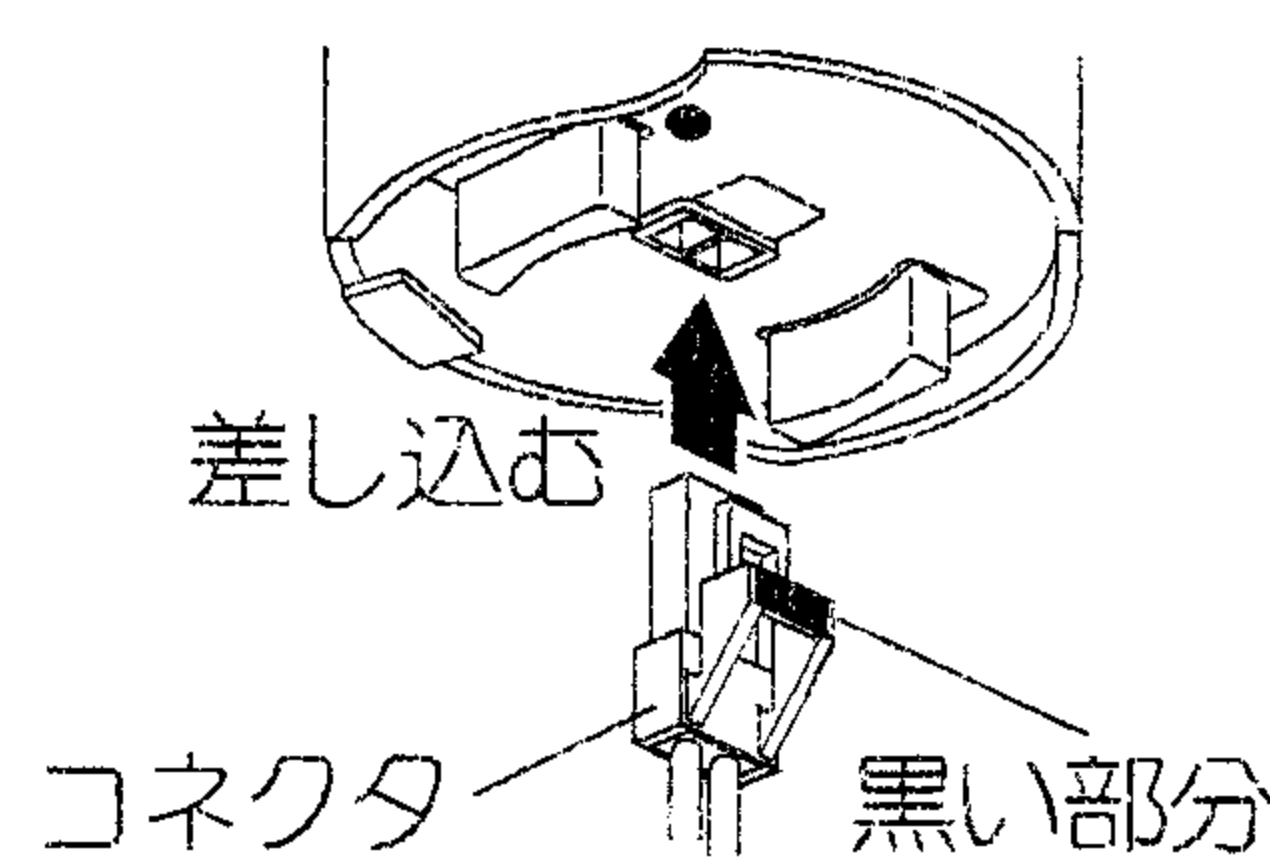
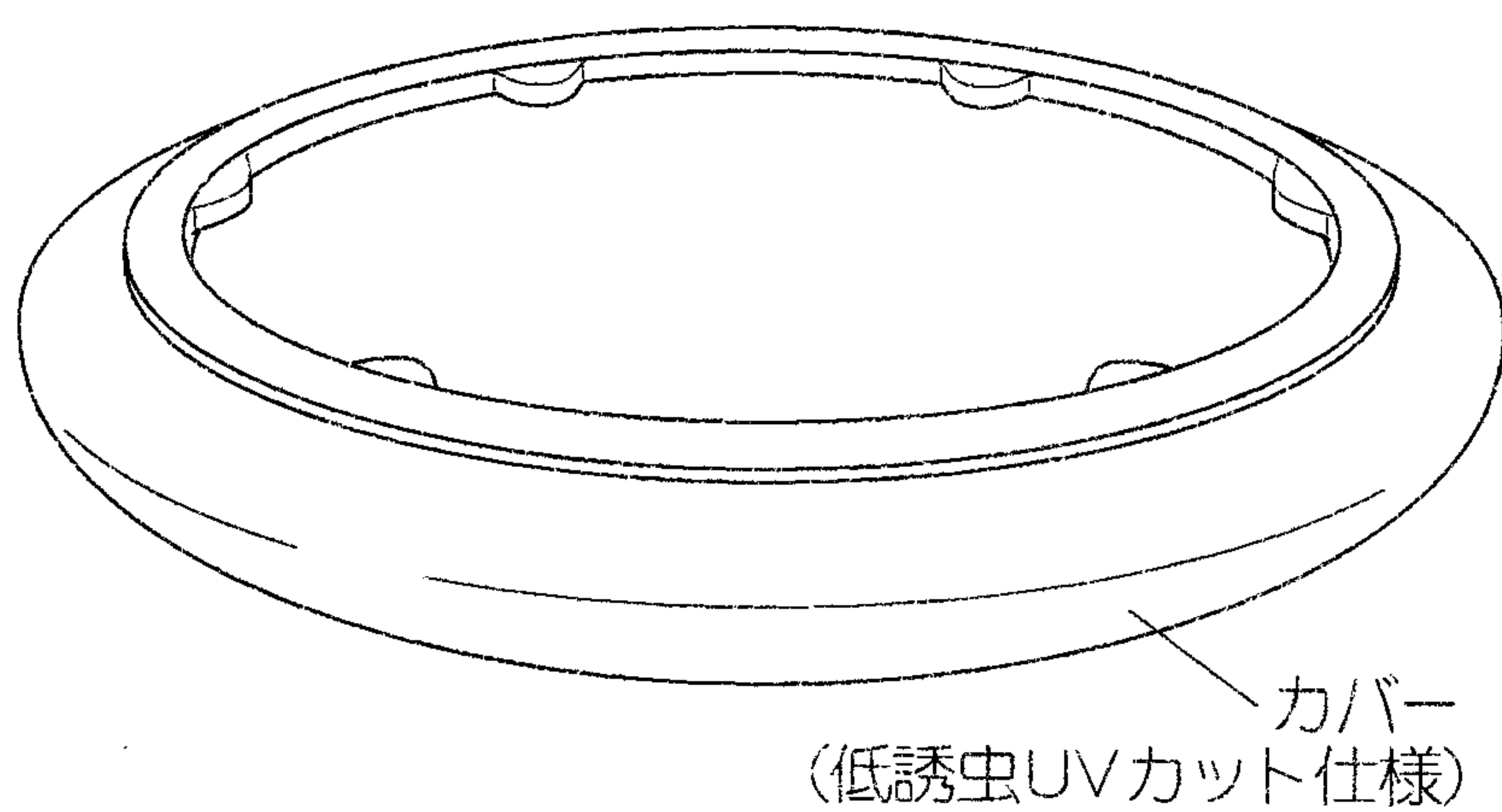
本体の丸印とアダプタの丸印を合わせて本体を押し上げる



確認

- アダプタ中央部の赤色の部分が見えていないか確認する。
- 取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。
- 本体取り付け後、ランプがソケットから浮いていないか確認する。
➡ 浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

2 コネクタを接続する



確認

- コネクタの黒い部分を押さずに引っ張って抜けないことを確認する。

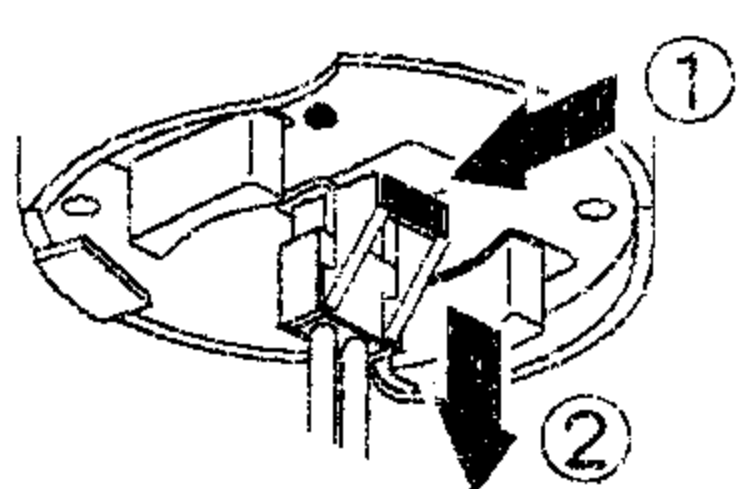
⚠ 注意

- コネクタを接続後、本体を押し上げない
器具破損の原因となります。

本体、アダプタの外しかた

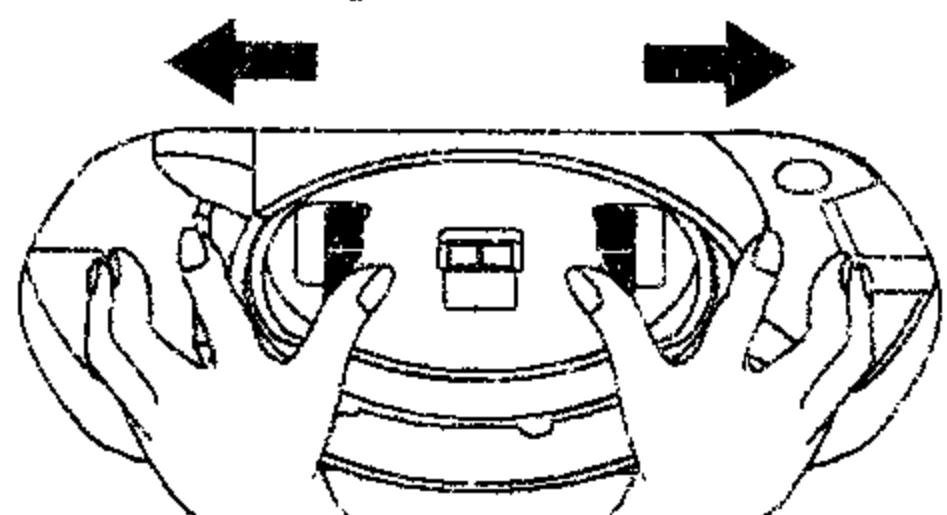
1 コネクタを外す

- ① コネクタの黒い部分を押しながら
- ② 引き抜く



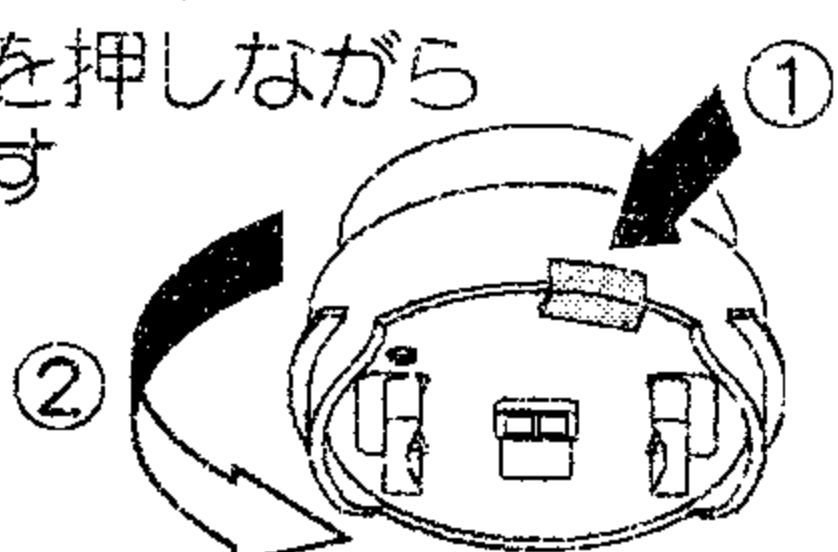
2 本体を外す

- ① 本体を支えながらレバーを矢印の方向に広げる



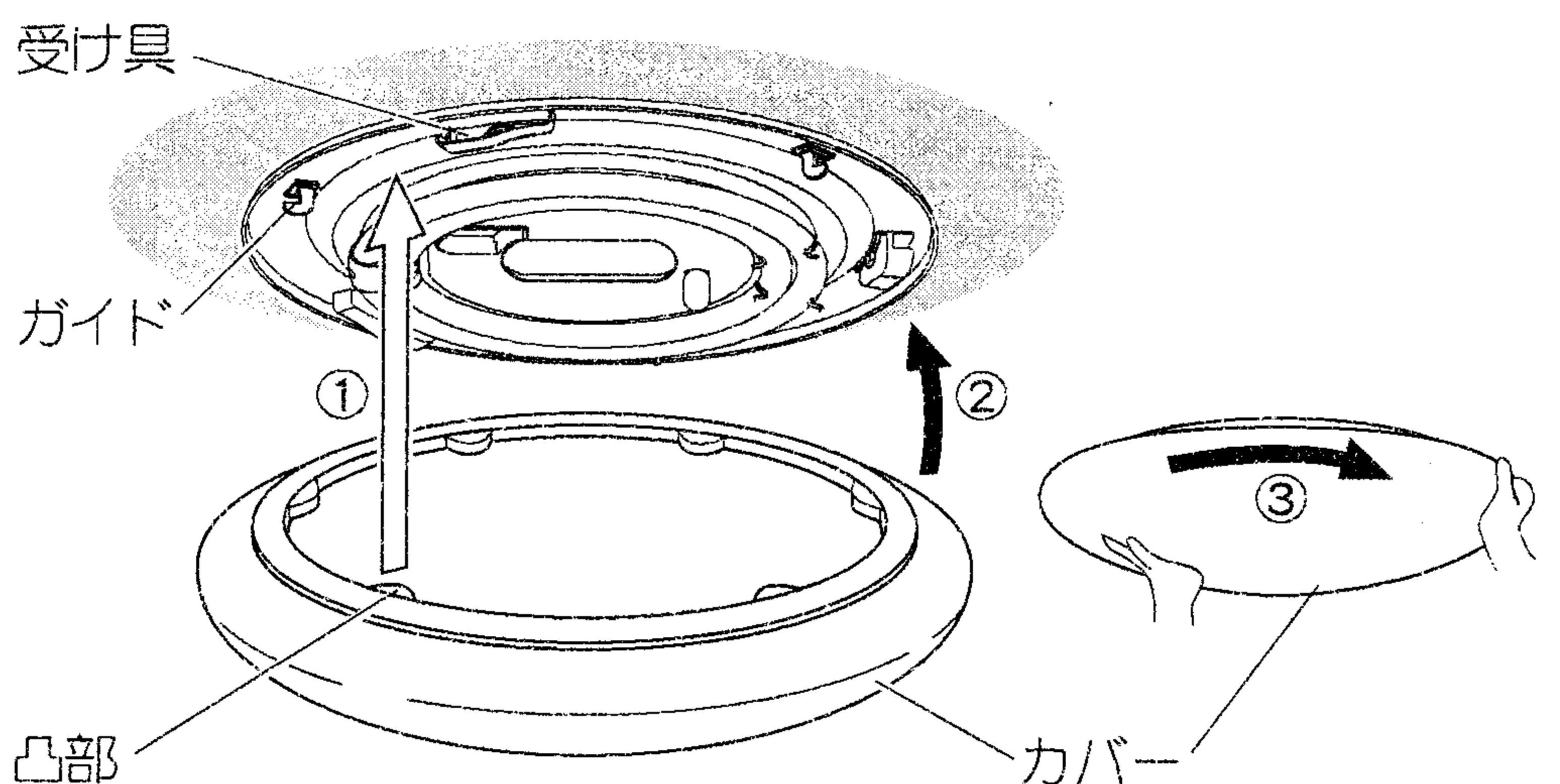
3 アダプタを外す

- ① ボタンを押しながら
- ② 左に回す



3 カバーを取り付ける

- ① カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる
- ② カバーを持ち上げる
- ③ カバーを右に回す



リモコンのはたらき

明/暗ボタン

蛍光灯、豆球の明るさが変わります。
 蛍光灯：100～約10%の明るさ
 豆球：6段階の明るさ

メモ

- 「好みの明るさボタン」・「豆球ボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
 (☞ 下記「好みの明るさで点灯させる」参照)

消灯ボタン

消灯します。

チャンネルスイッチ

操作したい器具のチャンネル (CH1～3) に合わせて使います。
 (お買い上げ時：CH2)
 (☞ 下記「器具のチャンネルを設定する」参照)

全灯ボタン

蛍光灯が100%の明るさで点灯します。(注)
 (注) 押したときの明るさを変えることもできます。

(☞ 下記「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照)

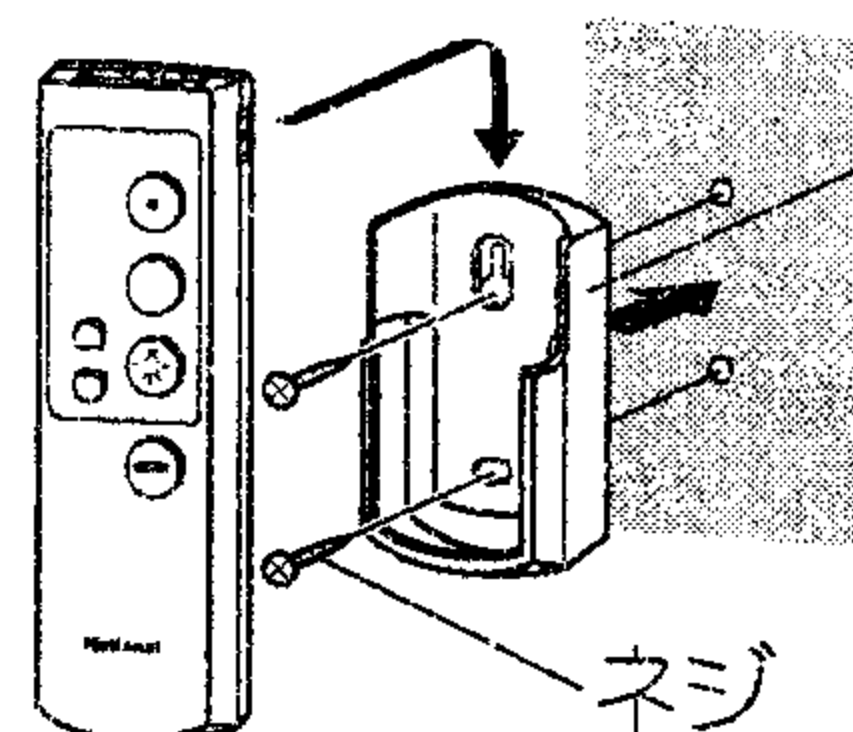
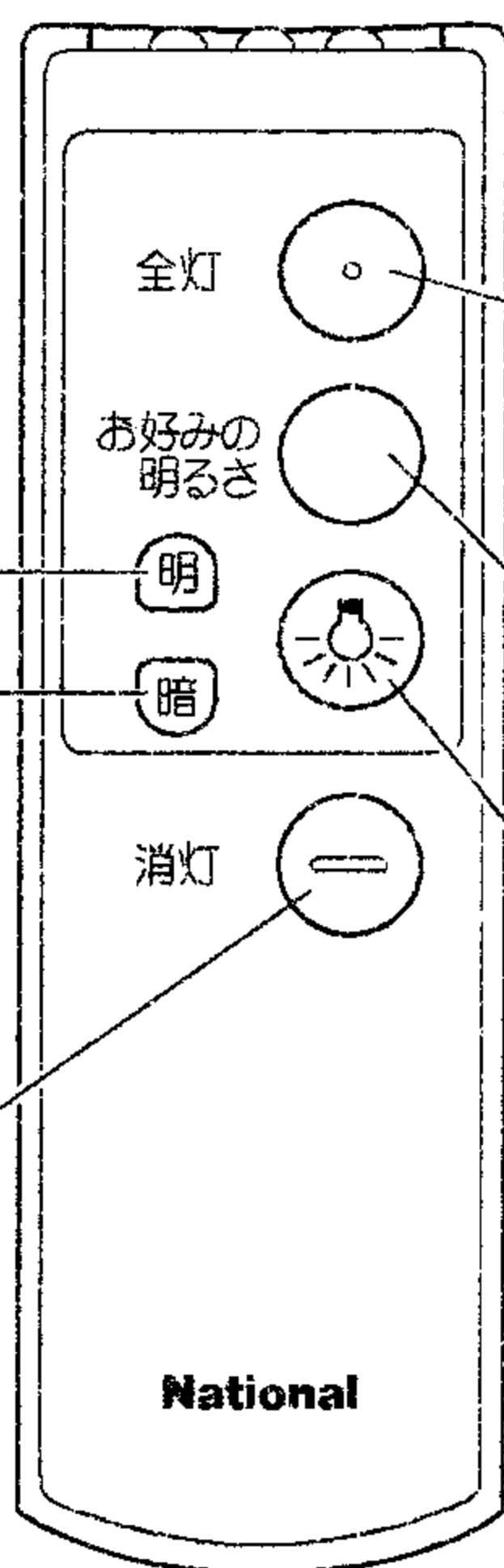
好みの明るさボタン

明/暗ボタンで変えた明るさ(調光)で、蛍光灯が点灯します。
 (お買い上げ時：約60%の明るさ)

豆球ボタン

明/暗ボタンで変えた明るさで、豆球が点灯します。
 (お買い上げ時：100%の明るさ)

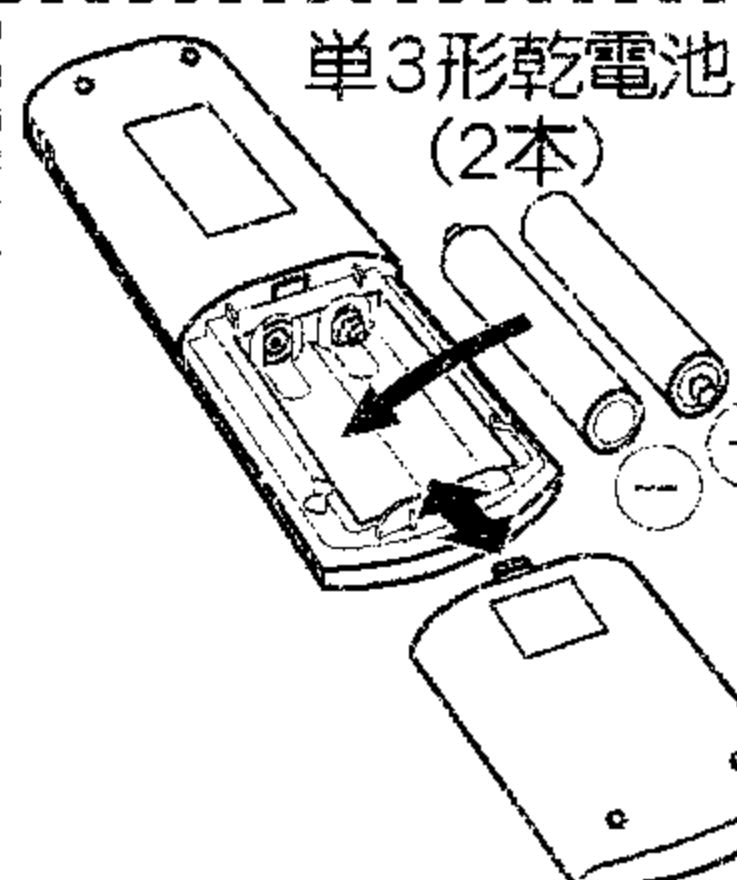
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。



リモコンボックス

紛失防止用に壁掛け収納できます。

- 収納した状態で操作すると、点灯状態が切り替わらない場合があります。
- リモコンは必ず器具に向けて操作してください。



電池交換時期の目安

- 乾電池は半年を目安に取り替えてください。

注意

- 指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。
- 極性表示の通り⊕ ⊖を正しく入れる。
- 使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

好みの明るさで点灯させる

蛍光灯

1 お好みの明るさ () を押す

2 (明) / (暗) で蛍光灯の明るさを変える

明るさ記憶

以後、再び左記の操作を行うまで

お好みの明るさ () を押すたびに、

2 で変えた明るさで点灯します。

豆球

1 (豆球) を押す

2 (明) / (暗) で豆球の明るさを変える

明るさ記憶

以後、再び左記の操作を行うまで

(豆球) を押すたびに、

2 で変えた明るさで点灯します。

メモ

- リセットスイッチを押すと、蛍光灯、豆球ともお買い上げ時の明るさに戻ります。

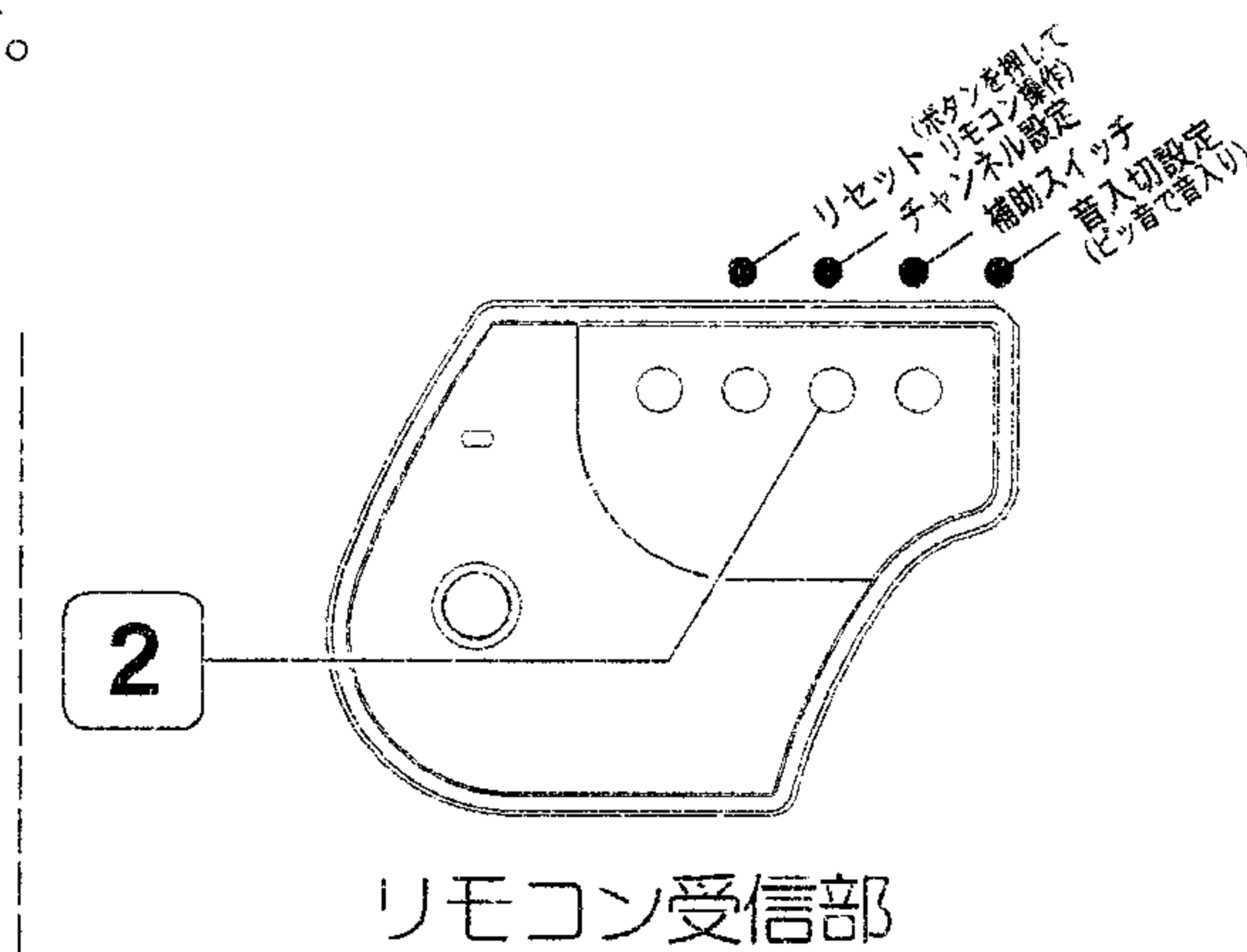
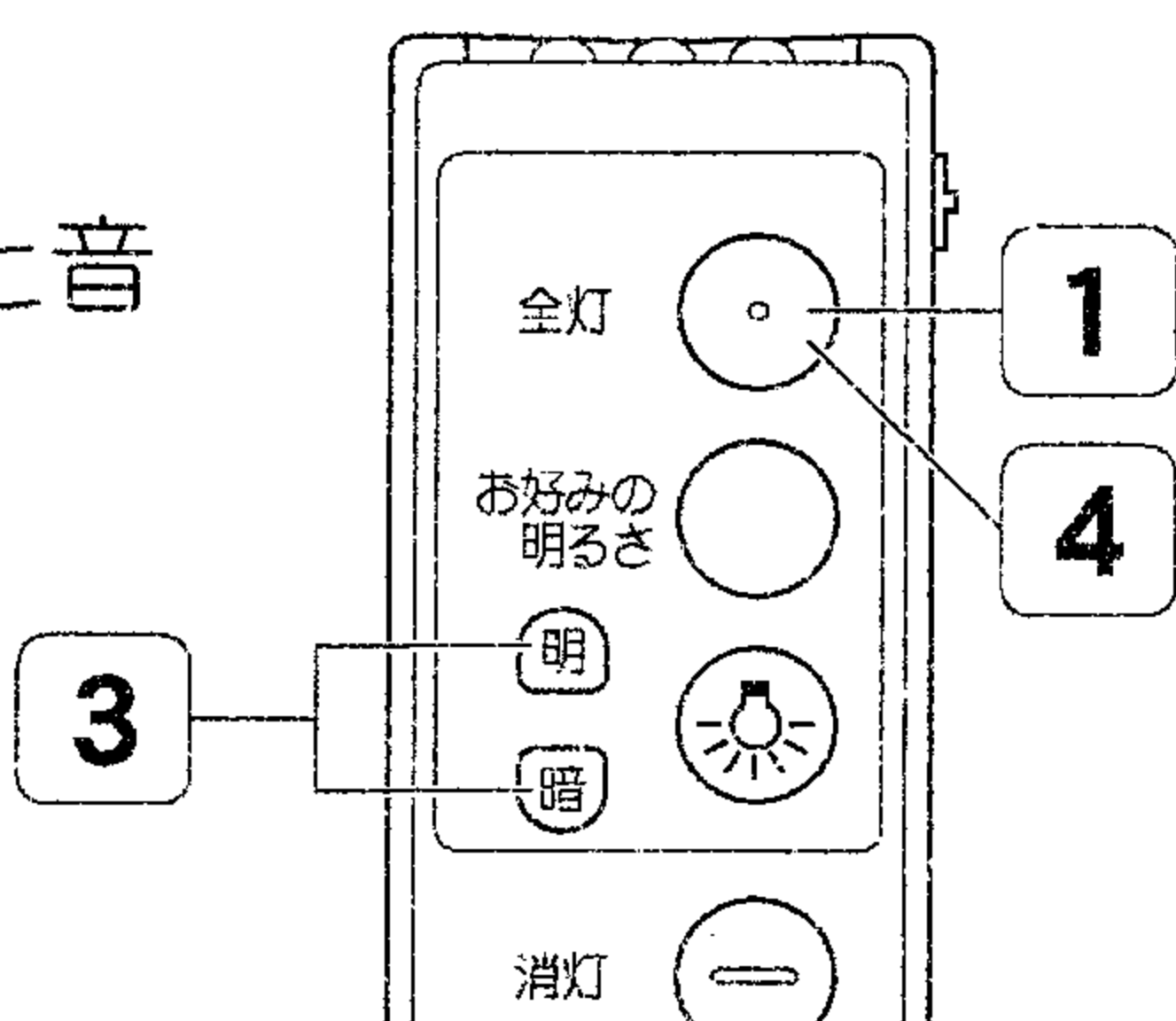
全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

1 リモコンの 全灯 () を押す

2 リモコン受信部の補助スイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける

3 リモコンの (明) / (暗) で蛍光灯の明るさを変える

4 リモコンの 全灯 () を押す
 ➡「ピピーツ」と音がして変更完了



器具のチャンネルを設定する

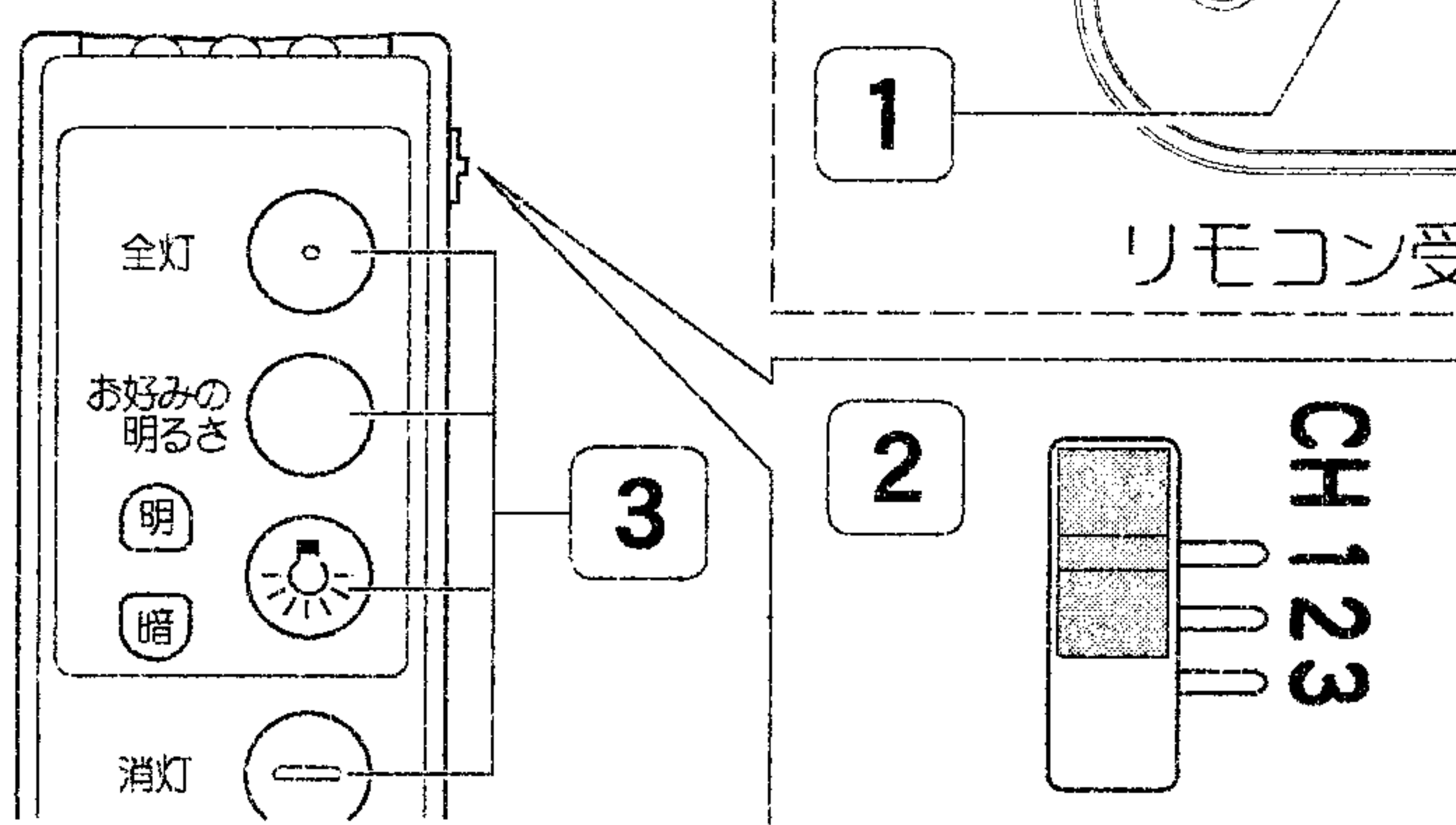
1 リモコン受信部のチャンネル設定スイッチを押す

2 リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる (例：CH1)

3 リモコンのいずれかのボタンを押す
 ➡「ピピーツ」と音がして変更完了

メモ

- 2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。



リモコン受信部のはたらき

チャンネル設定スイッチ

器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
☞ 4ページ「器具のチャンネルを設定する」参照

補助スイッチ

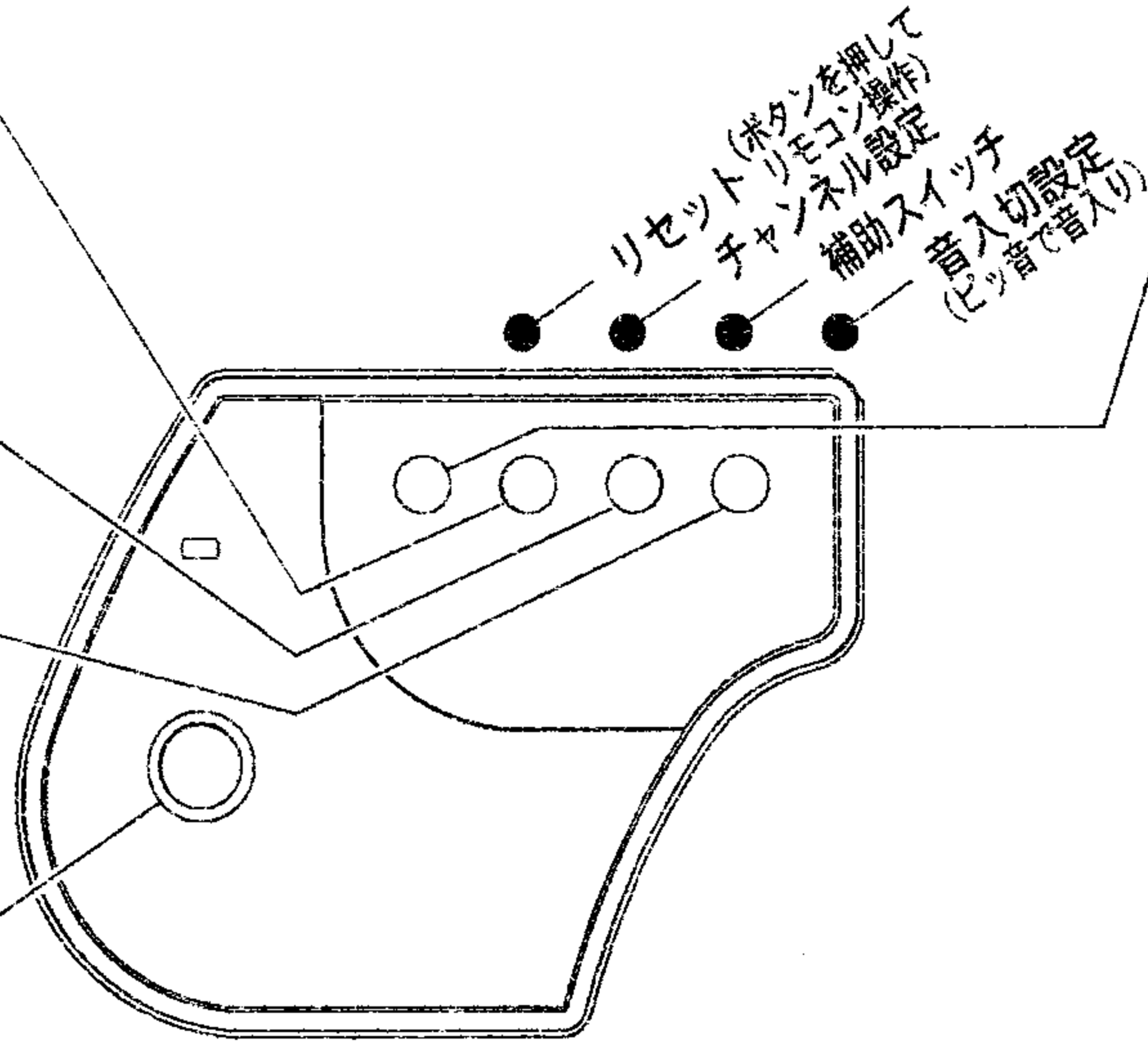
押すごとに全灯/消灯します。

音入切設定スイッチ

押すごとにリモコン操作時の音を入/切します。
「ピッ」と音がして「入」、無音で「切」

リモコン受信部

リモコンからの信号を受けます。
(傷つけたり、汚したりしないでください)



リセットスイッチ

動作が異常の場合に押します。(注)
☞ 6ページ「故障かな?と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

リモコンで設定する

- ①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
- ②器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
⇒「ピピーッ」と音がして設定完了

リモコンがない場合

補助スイッチを押す
⇒チャンネル2 (又は1-2) に設定されます

別売のリモコンについて

付属のリモコンの他に、下記のリモコンで操作ができます。

HK9392	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、豆球の明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。
HK9323	●タイマー、アラームの機能があります。 ●蛍光灯、豆球の明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、豆球をダイレクトに切り替えることができます。
HK9321	●テレビやビデオの操作もできます。 ●蛍光灯、豆球の明るさを変えることができます。(注) ●蛍光灯、豆球が順番に切り替わります。

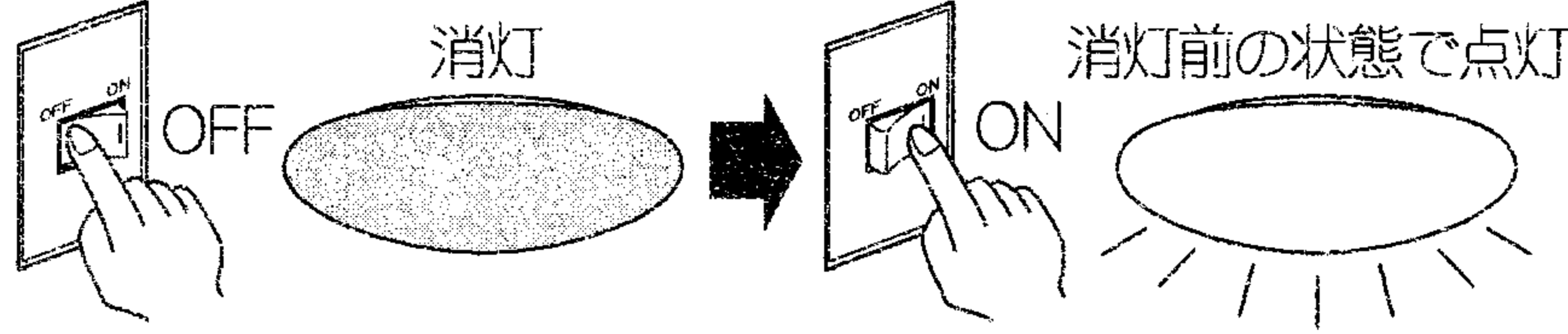
(注) HK9321は全灯の明るさを変更することはできません。

壁スイッチで操作する

通常の点灯、消灯だけでなく、点灯状態を切り替えることができます。

消灯する・点灯する

- 壁スイッチをONすると、消灯前の状態で点灯します。
「調光」でOFFすると、「調光」で点灯、
「豆球」でOFFすると、「豆球」で点灯します。

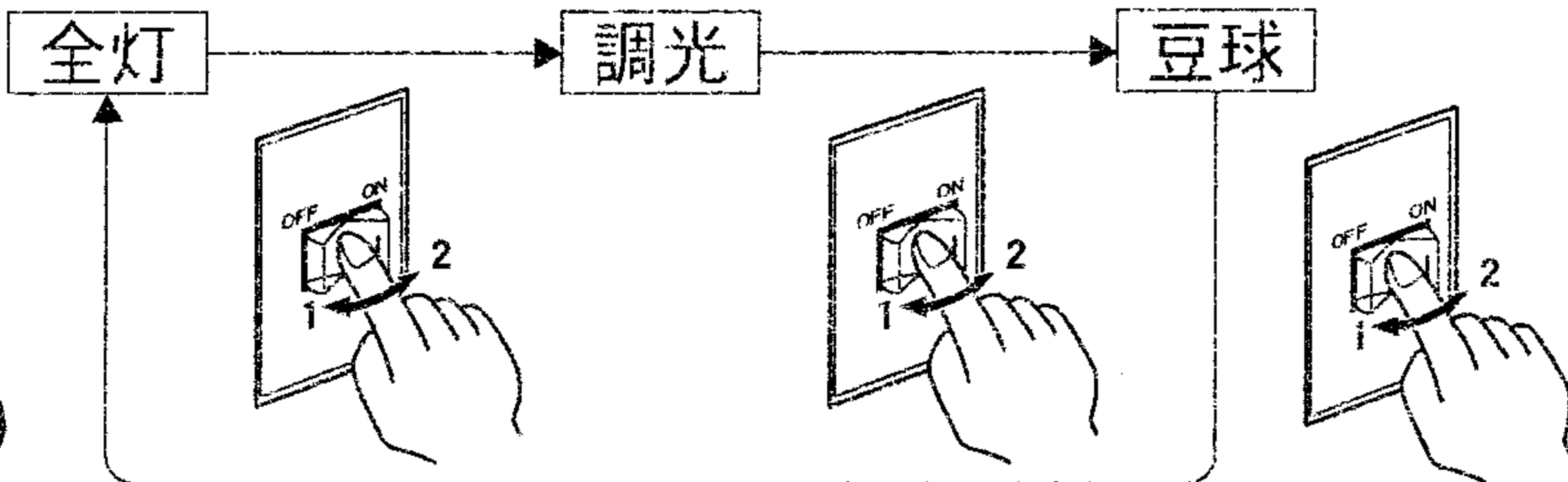


メモ

- リモコンで「消灯」した後に壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONしても「消灯」のままです。
壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
- 「調光」で壁スイッチをOFFし、再度壁スイッチをONすると、いったん「全灯」になった後、「調光」となります。

点灯状態を切り替える

- 壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。



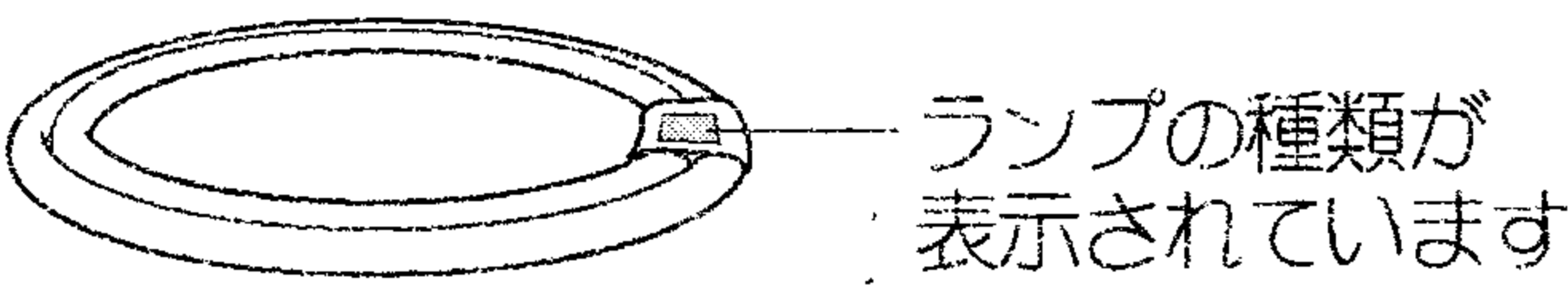
メモ

- リモコンで消灯しているときにこの操作をすると、全灯に切り替わります。
- 壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
- リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのまま待機電力(1.5W以下)を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

ランプを交換する

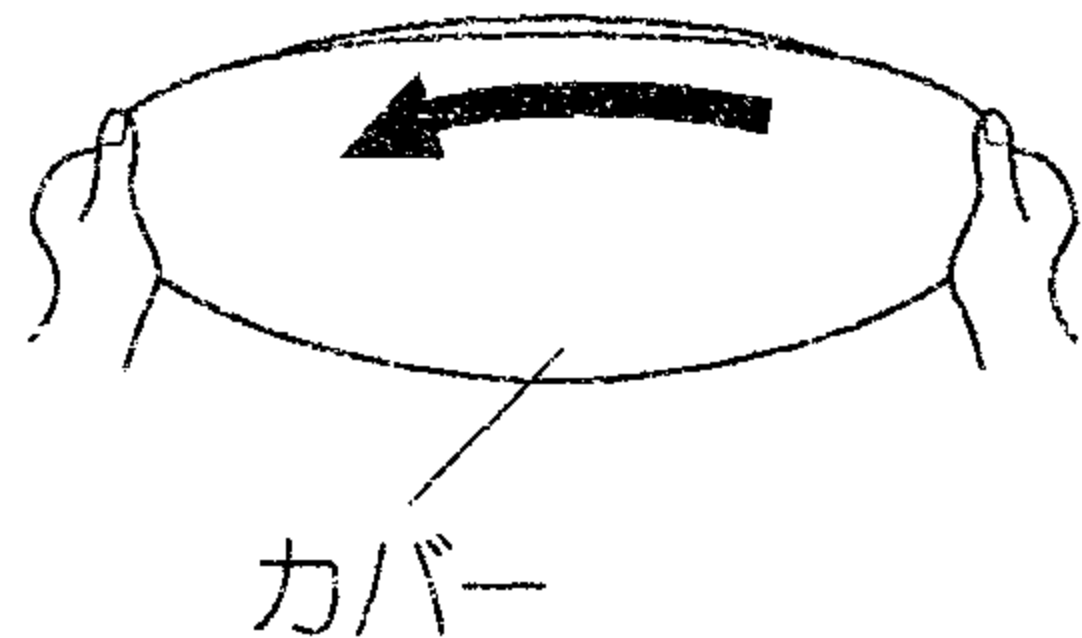
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- ランプの明るさが低下したり、点滅をくり返したりするようになると寿命です。
ナショナルツインバルック蛍光灯をお買い求めください。



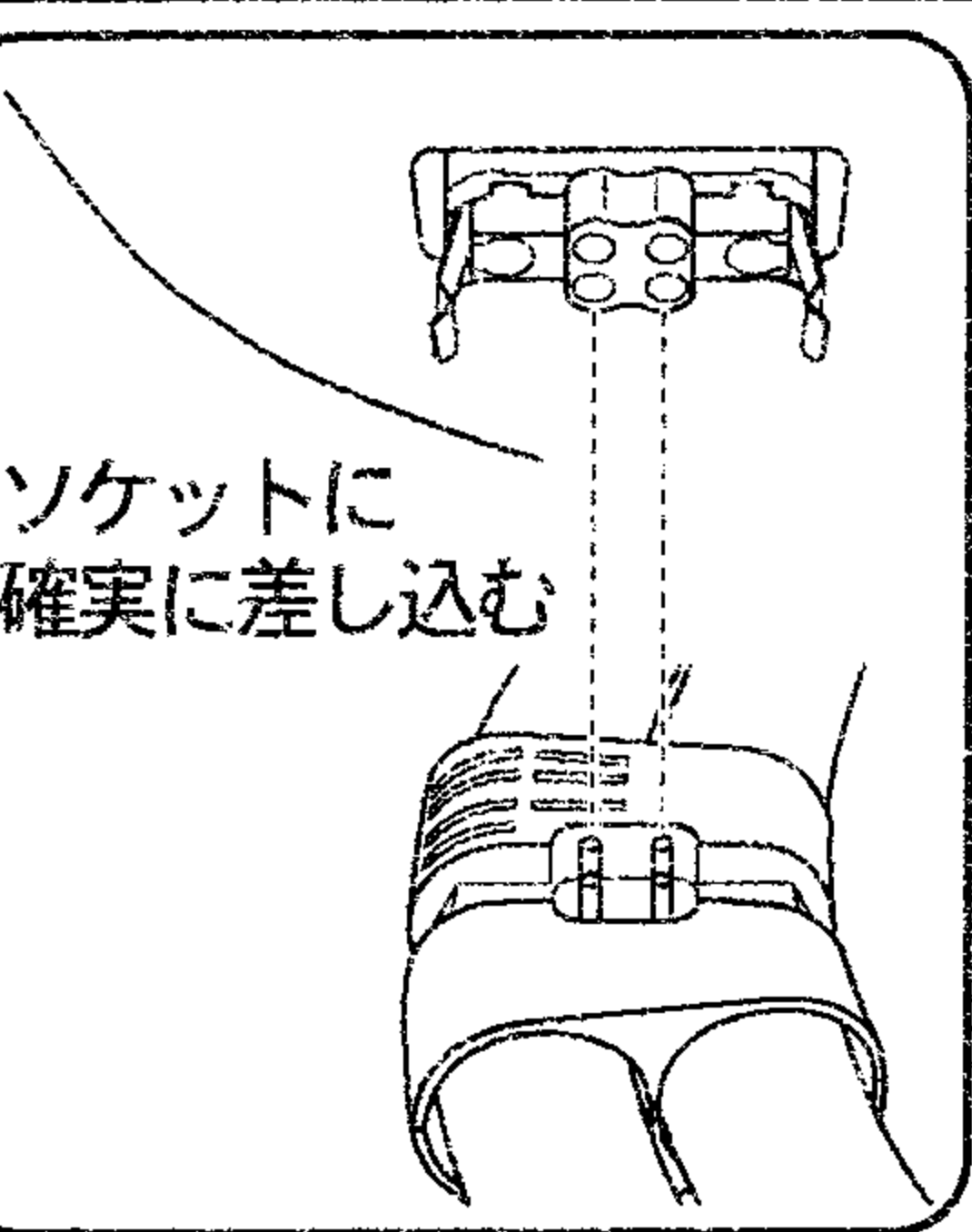
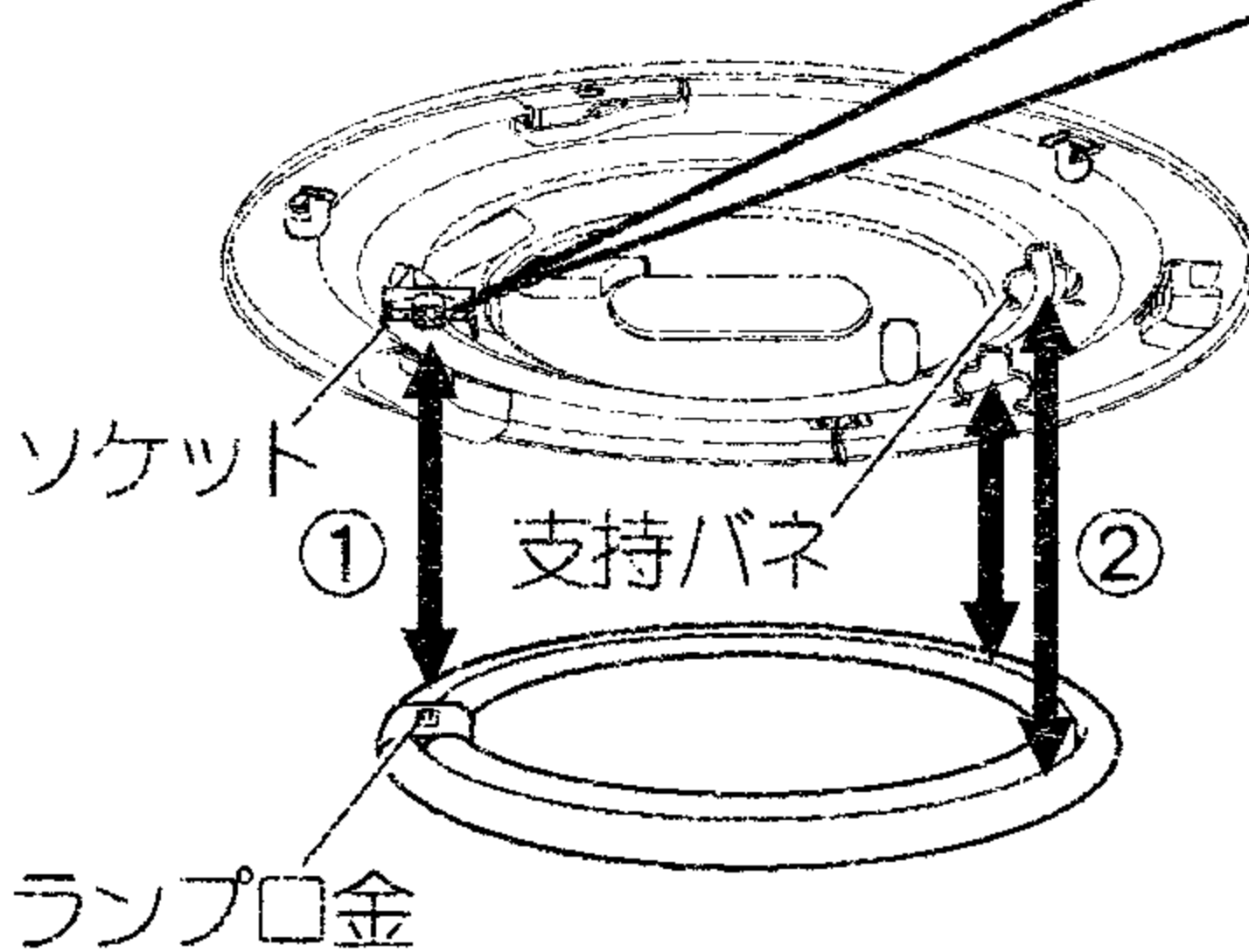
1 カバーを取り外す

カバーを持って左に回す
→「パチン」と音がして
カバーが外れます



2 ランプを交換する

- 取り外す
①ランプ口金を外す
②支持バネ側を外す



- 取り付ける
①ランプ口金をソケットに差し込む
②支持バネで固定する

3 カバーを取り付ける

☞ 3ページ
「各部のなまえと取り付けかた」
手順 3 参照

使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。
- 電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに影響することがあります。
- 照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなる場合があります。
- 冬場など周囲の温度が低い場合、明るくなるまで時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生することがあります。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチをOFFにしてください。
- 天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなる場合があります。
- 周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
- 低誘虫の効果は、虫の種類（すう光性の有無）、周囲の環境（付近に明るい光源がない等）によって異なります。
- 市販のLED豆球を使用すると、リモコンで「切」にしても完全に消灯しないことがあります。
ご使用はお避けください。

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃、点検してください。
 - ・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
 - ・カバーは石けん水に浸したやわらかい布で汚れをふき取り、水で洗った後かたく絞ったやわらかい布で水分をふき取ってください。
- シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現 象	考えられる原因	処 置
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、アダプタ中央部の赤色が見えていないことを確認し、再度差し込む
	ランプロ金がソケットから外れている	ランプロ金をソケットにはめる
	ランプが切れている	ランプを交換する
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを照明器具と合わせて操作する

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③ 器具のチャンネルを設定する（P5ページ「リモコン受信部のはたらき」参照）

- 上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、工事店、電器店、別紙ご相談窓口にご相談ください。

仕様

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	76W（リモコンOFF時、1.5W以下）	85形ツインパルック蛍光灯

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はご購入の日より1年間です。
但し安定器については3年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。
- 保証期間を過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- アフターサービスについてのご不明な点は
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くの松下電工修理ご相談窓口（別紙一覧表参照）にお問い合わせください。